

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

9/10

2023.SEP・OCT
VOL.157

Top Interview

株式会社 やまやコミュニケーションズ 代表取締役社長 執行役員 CEO兼COO 山本 正秀 氏

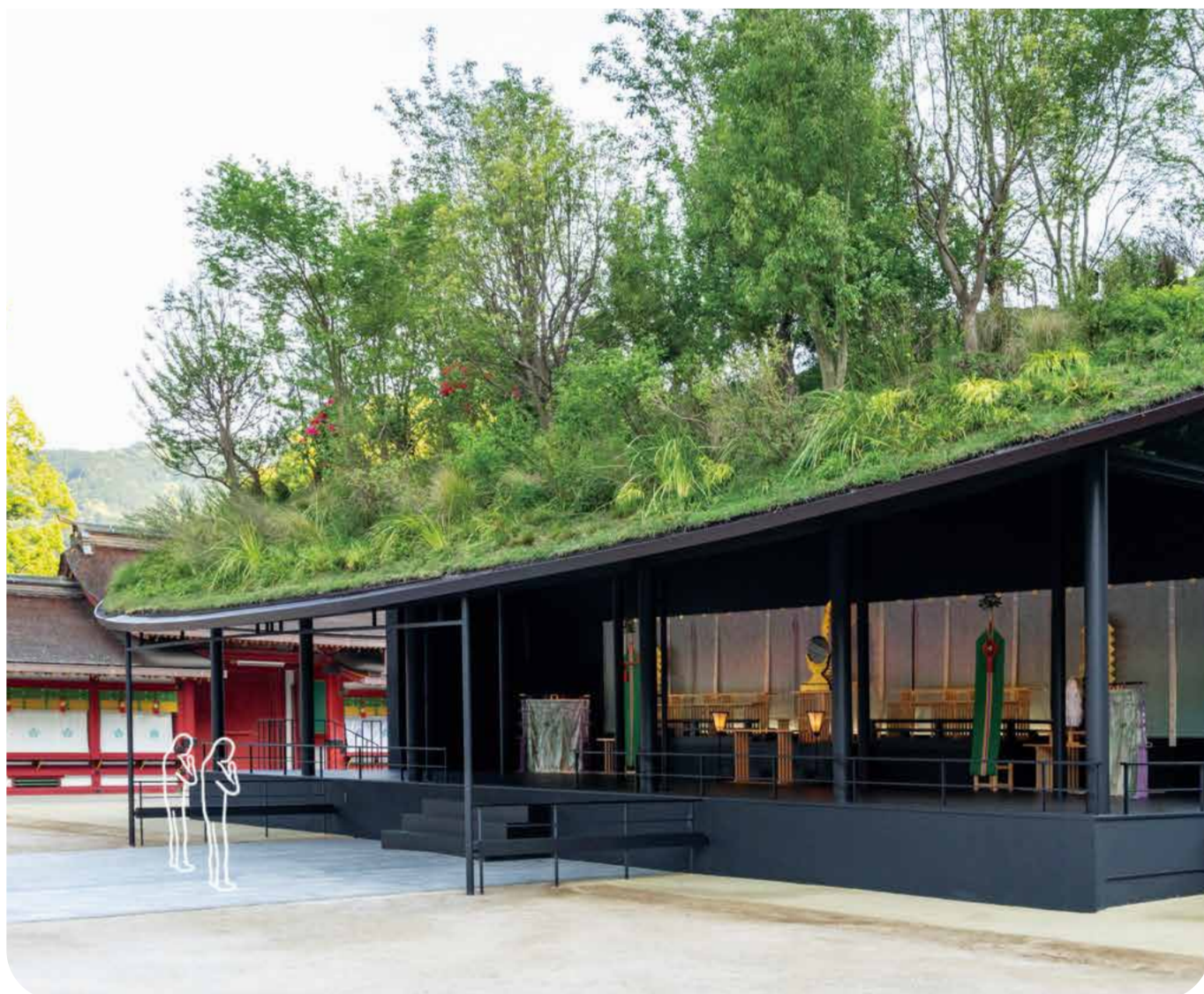
株式会社 藤興機 代表取締役 藤森 寛光 氏 ・ 専務取締役 藤森 仁文 氏

有限会社 海野清掃産業 代表取締役 海野 泰兵 氏

 福岡銀行

 熊本銀行

 十八親和銀行



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

この世の外か、 霧島神宮



▲霧島神宮本殿



▲上.高さ38mの御神木/下.三の鳥居への石段



▲三の鳥居

●霧島神宮
拝観料、駐車場とも無料

住所：
鹿児島県霧島市
霧島田口2608-5



硫黄の芳香に包まれる温泉地であり、天孫降臨の神話が伝わる霧島を旅した坂本龍馬は、姉に宛てた手紙に「この世の外かと思われ候ほどのめずらしき所なり」と記した。

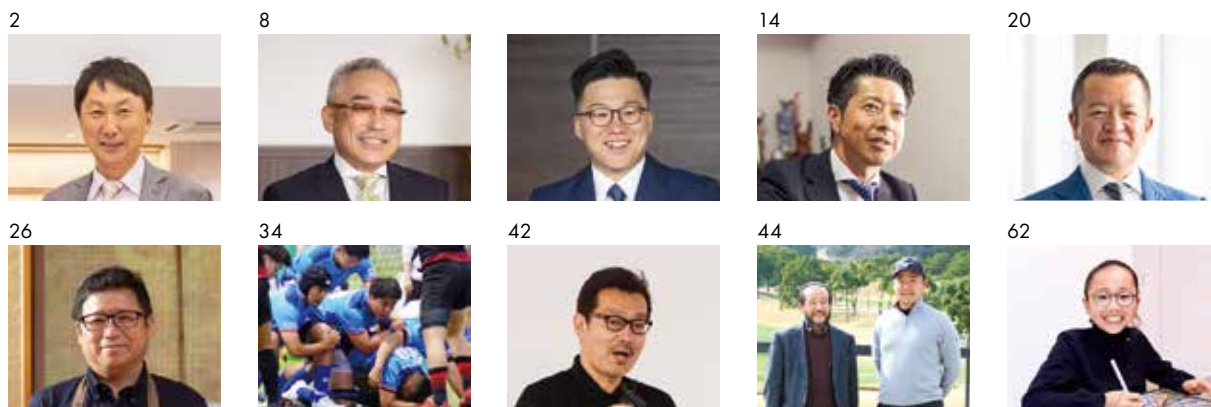
霧島神宮はかつて高千穂峰山頂近くにあったが火山噴火によって幾度も焼失、その後高千穂河原からこの場所へと移され、1715年、薩摩藩主島津吉貴によって現在の場所に社殿が建立された。

駐車場近くの二の鳥居をくぐって参道を抜け石段を上り、三の鳥居の先の木立トンネルを行けば、やがて小さく社殿が見えてくる。広がった視界に、均整の取れた本殿、幣殿、拝殿からなる複合社殿が森の緑を背景にして姿を現す。

山の空気に包まれた参道と巨木の静寂の中、ひとときわ鮮やかな朱色に輝く社殿は、何度目にしても神々しい。

(文・阿井川圭)


CONTENTS




懐かしい情景を探して
この世の外か、霧島神宮

32 地域とつながるFFG連携プロジェクト
課題探究型フィールドスタディ
「マイナビ ツール・ド・九州×locus」開催!


Top Interview

2  福岡銀行
株式会社 やまやコミュニケーションズ
代表取締役社長 執行役員 CEO兼COO
山本 正秀氏

34 FFG Victory Road
FFGブルーグレーパーズ

8  熊本銀行
株式会社 藤興機
代表取締役 専務取締役
藤森 寛光氏 ・ 藤森 仁文氏

44 GOLF TALK **NEW!**
プロゴルファー 時松隆光 × コーチ 篠塚武久

14  十八親和銀行
有限会社 海野清掃産業 代表取締役
海野 泰兵氏

50 台北駐在員報告
台湾における日本産食品の市場について

20 さすてなぶる九州
株式会社 ウイルプラスホールディングス
代表取締役社長 成瀬 隆章氏

59 地銀9行連携レポート 伊予銀行
移住者を呼び込む「神の島」大三島
～移住者を起点とした、観光・移住需要の創出～

26 九州の逸品
株式会社 木屋芳友園
八女茶発祥600年

62 九州の星
2022年度 全国選抜小学生プログラミング大会
準グランプリ 中島 莉衣奈さん

64 釣り道
博多湾、剣の舞 タチウオ編

65 長崎だより
遠藤周作生誕100年記念事業

バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



今月の表紙

太宰府天満宮 仮殿 (福岡県太宰府市)



写真・文提供：太宰府天満宮

令和九年
一千二百二十五年
式年大祭 斎行

太宰府天満宮では、令和五年より約三年をかけ行う重要文化財「御本殿」の大改修に際し、御本殿前に「仮殿」を建設し、御参拝の皆様をお迎えします。



福岡銀行

九州の食を、世界へ。

念願の新本社・工場が完成し

50周年に向け新たなスタートを。

株式会社

やまやコミュニケーションズ

代表取締役社長執行役員

CEO兼COO

山本正秀氏

やまもと まさ ひで

取引店／福岡銀行本店営業部

■会社概要

創業:1974年／設立:1976年／所在地:福岡県糟屋郡篠栗町／資本金等:14億円／従業員:1,555名(2023年2月末時点)／事業内容:辛子明太子製造販売・水産物及び一般食品加工製造販売・外食事業／事業所:(本社)福岡県糟屋郡篠栗町(事務所)東京都中央区、大阪市淀川区、名古屋市熱田区、宮城県塩竈市

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





新本社前(左から山本社長、五島頭取)

「やまや」から

「やまやコミュニケーションズ」へ

「やまやコミュニケーションズ」は2023年4月15日に、福岡県糟屋郡篠栗町に本社・工場を移転しました。場所は篠栗北地区産業団地（通称・IRUGASA^{イルガサ}）で、福岡市東区松島にあった本社、4つの工場、研究開発棟、通信販売・コールセンターなど全てを集約しました。篠栗の町や山々を見渡す高台にあり、私たちが目指す「Made in KYUSHU」を実現する、理想的な環境が整ったと思っています。

そもそも、当社の起源は1974年、父現在の名誉会長の山本秀雄^{ひでお}が、それまで勤めていた水産卸問屋を辞め、自宅台所で辛子明太子の製造開発をしたところから始まります。創業時の社名は「山本物産」。今につながるやまやの辛子明太子は、こんな父の熱意から生まれました。ちょうど日本は高度経済成長期の後押しで、新幹線で日本各地に旅行ができる時代になっていました。博多のお土産として辛子明太子が人気となり、工場が24時間稼働するほどの忙しさの中で、会社も成長してきました。

1981年には社名を「株式会社やまや」に変更。その頃、海外では「オリエンタルキャビア」として知名度が上がりつつあったことから、1985年にはアメリカでの辛子明太子販売に進出。1988年に、福岡市東区松島に本社・本社工場を新設しました。

私は、1993年に東京大学経済学部を卒業し、商社に勤務していましたが、1998年にやまやに入社。2000年4月、30歳の時に代表取締役社長に就任しました。同時に社名も「株式会社やまやコミュニケーションズ」に変更しています。この社名の「コミュニケーションズ」は、お客様や社員、地域の方々とのコミュニケーションを大切にしたいという願いを込めたものです。今でこそ「コミュニケーションズ」という名前の会社が数多くありますが、その当時は非常に珍しいものでした。

それまでは百貨店やスーパー、市場といったBtoBの事業がメインだったのですが、ちょうどその頃からEC、いわゆるインターネット通販が普及し始めていました。私たちもインターネット通販はもちろん、その頃に増えしてきた大型ショッピングセンター内などに直販の店舗を増やし始め、BtoCつまりお客様と直接



お取引をする事業も展開していくようになっていきました。

新商品、新業態の店舗を次々に 目指すのは「Made in KYUSHU」

1998年に発売した「めんたいマヨネーズタイプ」に始まり、辛子明太子もさまざまな味わい方が生まれています。また、定番の辛子明太子は日常づかいというよりも贈答品といった意味合いが大きくなり、さらには博多の特産品として観光客に親しまれる味へと変化していきました。

そのような流れの中で、現在は直営店を拡大するよりも、観光客に親しまれるような店舗展開を始めています。例えば2020年



山本社長

2月、太宰府店に明太フランスの専門店「YAMAAYA BASE DAZAIFU」というテイクアウトカフェを併設しました。明るい店内で、若い世代や観光客の方も気軽に立ち寄ることができ、食べ歩きのおともとしても好評をいただいています。

私たちは辛子明太子を主力商品としつつも食全体、特に九州の味をもっと広く知ってほしいと願ってきました。その一つが「博多もつ鍋やまや」です。実は、最初の出店は福岡でなく東京。その当時、まだ東京でなじみがなかった本格もつ鍋を提供したところ、これが評判となり、今では関東、関西、博多から北海道まで、店舗が拡大しています。「やまや」といえば「もつ鍋」といったイメージが強くなっている地域もあるほどです。このもつ鍋から生まれたミールキットは、現在、ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

当社は、2024年には創業50周年を迎えます。私たちは「九州から世界へ、やまやスタนด์ドを。」とどうビジョンの下、九州の食をブランド化する「Made in KYUSHU」を掲げ、国内外に九州の食をアピールしていきたいと考えています。新しい挑戦としては、



1.フリーラウンジでの対談風景／2.オフィスフロアを見学／3.広々としたフィットネスエリア／4.明太子の製造工程を見学／5.6.レストラン・マーケットを見学。人気商品を手に記念撮影／7.創業以来受け継がれてきた匠のたれに168時間じっくり漬けた明太子／8.宮崎県産南高梅を使用したリキュール「うめにゃん」。インターナショナル・ワイン・アンド・スピリッツ・コンペティション2023で金賞を受賞／9.「乳酸菜」シリーズ／10.やまや総本店の外観／11.企業メッセージ

Yamaya Factory Terrace



前列左3人目から山本社長、五島頭取、藤善本店営業部長(福岡銀行)

2021年3月に福岡県朝倉市に誕生した「朝倉マルシェ 果樹蔵」があります。ここは旬の野菜や果物を味わう食事、そしていちご狩り体験が楽しめる施設となっています。

また、宮崎県西都市にある老舗の焼酎酒造場を「やまや蒸留所」と改名し、宮崎県産の柚子や梅、日向夏のリキュール、宮崎県の特産である「へべす」を使ったクラフトジンなど、新しい商品を次々と生み出しています。2023年1月には、九州産の野菜や果物に乳酸菌を組み合わせ生まれた食品ブランド「乳酸菜」を販売開始。その中でも、大豆由来の「フルーツイバター」が、早くも話題になっています。2023年3月には、食に向き合う当社の姿勢を体現する旗艦店として「やまや総本店」を福岡市中央区白金にオープンしました。辛子明太子を堪能できるランチや季節のフルーツを使ったスイーツ、お土産を提供する「白金小径」と、完全予約制で九州の食をテーマとした割烹料理を提供する「膳」のふたつの店舗で構成されており、さまざまなシーンでご利用いただけます。このように新しいアイデアも次々と形にして、九州の食材や食文化の魅力を皆様にお届けしてまいります。

自由な発想が生まれる 新しいオフィス空間 レストランや工場見学も

この春完成した本社・工場には、これまで点在していた機能を集約しました。まずこだわったのが1階のオフィスフロアです。スタッフの席を固定しないフリーアドレス制にし、一人一人にノートパソコンとスマートフォンを支給しています。好きなスペースで、好きなスタイルで、仕事ができるようになりました。フロアには壁がなく、デスクも広いテーブル席やソファタイプなどさまざまあり、気候が良い時には外のテラスで仕事をする構いません。篠栗の自然を眺めながら、気持ち良く仕事ができると思っています。

勤務制度については、移転を機にフレックスタイム制を導入しており、リモートワークも可能です。駐車場も広くマイカー通勤は問題ありません。最寄りのJR篠栗駅からも徒歩15分ほどで、移転により通勤する場所が変わったことが大きく問題になることはありませんでした。自由な空間で、自由にコミュニケーションがとれることで、新たな発想が生まれることを

期待しています。

また、以前から「健康経営」を掲げており、オフィスのすぐ横には、本格ジム、ヨガなどのレッスンができるスタジオ、男女別のシャワールームを備えたフィットネスエリアも設けました。ここは業務時間内でも利用が可能です。気分転換はもちろん、体力づくりなど自由に使ってほしいと思っています。

2階はどなたでもご利用できるレストラン、マーケット、工場見学ができるフロアや辛子明太子の漬け込み体験などができるキッチンスタジオを設けています。レストランは社員食堂でもあるのですが、この地域の皆様にも、ぜひ気軽にご利用していただきたいと開放することにしました。

スタッフも新しい環境で、生き生きと働いています。お互いのコミュニケーションも増え、「コミュニケーションズ」と掲げた社名がようやくこの場所での実現できたと感じています。今、プロジェクトのリーダーはなるべく若手に任せ、次世代の幹部を育てていきたいと考えています。この理想的な新しい環境で、好奇心を持って自主的に課題を見つけ、解決できる、そんな若手が育つことを期待しています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久



1974年創業の当社は、様々な商品ラインアップや販売チャンネルで、九州の食の魅力を発信する企業として成長を続けています。

「やまや」のプレートが鮮やかな新本社・工場は、篠栗町の小高い丘の上にあります。レストランや工場見学など一般向けにも開放されています。また、働きやすさを最優先したオフィス空間は、自由なコミュニケーションによって新しい発想がどんどん生まれそうです。ここが町のランドマークになるとともに、当社の「Made in KYUSHU(九州の食をブランディングする)」を実現するイノベーションセンターとなる日も近いことでしょう。



熊本銀行

八代の地で三十年。

高精度の品質で期待を超え続ける

プラスチック加工の技術者集団。

株式会社 藤興機

代表取締役

藤森 寛光氏

専務取締役

藤森 仁文氏

取引店／熊本銀行 八代支店

■会社概要

創業:1993年／設立:1995年／所在地:熊本県八代市／資本金:1,000万円／従業員:75名(2023年7月現在)／事業内容:工業用プラスチック製品加工全般(プラスチック精密切削、組立加工、半導体・液晶製造装置関連設計・製作)／事業所:本社工場、みなと工場

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





株式会社 藤興機

2023年2月に竣工した本社工場前にて(左から藤森仁文専務、藤森寛光社長、野村頭取)

身に付けたプラスチック加工技術をもとに30歳で独立起業

創業30周年を迎えた当社は、工業用プラスチックの切削加工と組立（接着・溶接）技術を有しており、半導体製造装置、医療・理化学機器、自動車製造ライン、食品ライン、アミューズメント筐体といった多様な製品を、幅広い業界に高い品質で提供しています。

宮崎県都城市で生まれた私（寛光社長）は、20歳の時に関西のプラスチック加工の会社に入社。それから10年間、エンジニアとして技術を磨きながら営業としての経験も積み、独立して事業を始めました。起業した当初は八代郡（現・八代市）千丁町で樹脂加工を手がけて、めつき装置向けプラスチック加工品の出荷をおこなっていました。世の中がバブル崩壊後の景気後退に苦しむ時代に、自宅の隣に小さな工場を構えてコツコツと仕事に打ち込んだものです。

ちなみに、社名の「藤興機」は、藤森の「藤」に、「機械を興す」と書きますが、「何も無いところから何かをつくる」会社でありたいという、ものづくりの精神を表しています。

創業から2年後の1995年に有限会社を設立し、さらに翌年には、お客様からのニーズの高まりに応じて、液晶・FPDパネル製造装置向けプラスチック加工品も手がけるようになりました。その後、社内設備を増設しながら、半導体

製造装置向けプラスチック加工品などの製作にも乗り出し、2007年、手狭になった工場を新築移転して株式会社へと組織を変更し、順調に事業を拡大していきました。

リーマン・ショックを機に大手メーカーとの取引開始へ

ところが、移転の翌年となる2008年にリーマン・ショックが起きると、その影響で仕事は激減。何とかしなければと思い立って足を運んだのが、これまで取引のなかった大手メーカーです。大手との関係性を構築できれば、景気の波に左右されにくい経営基盤を確立できると考えたからです。会社員時代の10年間で、エンジニアとしてだけでなく営業のノウハウもしっかりと身に付けていたため、取引先の開拓はできるといふ勝算もありました。

営業努力のかいあって、2010年には大手半導体製造装置メーカーとの取引を開始できました。しかし、それまで経験のなかった大手との取引は、最初のうちは苦労の連続でした。まずは、パソコン機器や製造設備などの拡充で準備をしなければなりません。取引先ごとの仕様や製造ルールの違いに戸惑うこともありました。

自身の職人的な視点から仕上がりに問題のない製品でも、品質のルールがきっちりした



5



3



1



6



4



2



藤森寛光社長

相手には通用しません。これまで以上に細かい点にも気を配らなければ、大手の要求水準に因應られないと思われられました。

そういった意味では実に大変な時期でしたが、当社にとっては、技術力を向上させると同時に品質管理の厳しい目を養うきっかけとなりました。「技術者集団」を自負する当社としては、成長につながる経験であったと思います。

強みは高度な加工技術と 万全の品質管理体制

大手メーカーの仕事をお願いする経験を通じて、当社は技術者集団として、確かな「技術力」と「品質力」を手に入れました。

私たちが手がけるプラスチック加工製品について、「型に流し込むだけ」と思われる方がおられるかもしれませんが、まったく違います。もちろん多種多様な工作機械を取り揃え、それらを

使つての加工作業はありますが、いずれも精緻な仕上げを要求される製品ばかりですので、仕上げの段階では職人的な細かい手仕事が必要不可欠なのです。それぞれに高度な技術が求められ、そうした技術は、ベテランの職人から若手へと受け継がれています。当社は、「お客様のご要望を何でも形にする」ことを使命と捉えており、職人の確かな技術力でお客様からの期待に応え続けているのです。

そして、高水準の加工技術だけでなく、お客様からの信頼を得られる製品を送り出すための「品質力」も、当社の強みといえるでしょう。

ミクロン単位の精度を実現するために専用の検査棟を設け、工場内の温度管理を徹底した環境の中で検査専門の検査員が各種測定器を駆使して入念な検査をおこなっています。最終検査前の工程内検査に関しても、一工程で2名以上がチェックするといった具合に、何重もの検査工程によって万全の品質管理体制を構築しています。

その結果、不良品の割合が0.1%でも品質管理が優れているとされる業界の中で、当社は、直近の納品事例でいうと0.008%という高水準を達成しています。これはつまり、出荷された製品1,000個のうち不良品が1個程度であれば、製造業者として優秀なほうであるとされる状況において、当社の場合、不良品の割合が12,500個のうち1個であるということです。

現在も大手メーカーからパートナー企業と



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.新本社工場見学の様子／3.プラスチック加工品の説明を行う藤森寛光社長／4.新工場の特徴を説明する藤森仁文専務／5.工場でも多くの女性が活躍している／6.製品加工作業の様子／7.高い品質を保つために欠かせない検査作業／8.一度に2つの製品を加工できる特注のNCルーター加工機／9.新本社工場の社員食堂／10.プラスチック精密切削を極める「みなと工場」※(旧本社工場)／11.企業メッセージ



新本社工場前にて。前列左3人目から藤森仁文専務、藤森寛光社長、野村頭取、平野支店長(熊本銀行)

して選ばれ続け、納品物に対してお褒めの言葉をいただける事実こそ、当社製品の品質の証しといえるのではないのでしょうか。

30周年の節目を迎え 二拠点体制で次のステージへ

創業からちょうど30周年の本年2月に、新本社工場が竣工して3月から操業を開始できたのは喜ばしいことだと感じています。2007年の工場新築・移転の際と同様、今回の新工場建設でも熊本銀行さんには大変お世話になりました。

プラスチックの精密切削を極める旧本社工場(みなと工場)に加えて、接着・溶接などの組立加工に特化した旗艦工場となる新本社工場が動き出したことで生産の二拠点化が実現しました。それぞれの持ち味を磨きながら両輪の生産体制でニーズに柔軟に 대응していければと考えています。

また、会社として節目の年を迎えるとともに、私自身も還暦となりました。今後は、ライフサイエンスメーカーでの開発・設計経験をもとに当社へ入社し、製造現場の経験を積んで、現在は経営企画を担当している長男(仁文専務)に経営を引き継いでいくつもりです。若い世代を率いながら、次の10年、20年、30年へ向けて、時代に応じた新たな組織をつくっていただければ



藤森仁文専務

取引先、従業員、地域との絆を大切にしたい先に開ける未来

たらと願っています。

プラスチック製品加工の仕上りの精度や業務効率をいっそう高めていけるような生産管理体制にしていきたいために、私(仁文専務)が力を注いでいるのが、社内DXの推進です。現在、新本社工場の新たな環境で仕事の精度をより高める生産管理システムの開発に取り組んでいます。

当社は、企業理念に「先義後利」を掲げています。お客様はもちろん、私たちの身近な人の関係において、相手の立場や気持ちに寄り添い、まずは、義理や道義に応えることを優先する。とにかく相手に与えることを大切にしたと思っています。

その企業理念のもと、当社は技術力と品質力に加えて、「対応力」も強みのひとつとして

います。受注した製品を生産するだけでなく、お客様の現場に伺ってお困り事をヒアリングし、ご要望に合わせた最適な製品を提供することで、より強固な信頼関係を築いています。

また、当社では近年、「熊本県／ブライト企業」「八代市未来チャレンジ企業」「熊本県／よかボス」「経済産業省／事業継続力強化計画」「熊本県SDGs登録事業者」の認証・認定を得ています。これらは当社従業員の意識向上と誇りを醸成するきっかけとなっていますが、こうした肩書きは、働きやすい環境を整えるのに会社が前向きであるという宣言でもあるのです。

そのような取り組みやダイバーシティを進めていく中で、製造業ながら男女比率が約6・4となり、女性でも働きやすい環境が整っています。

また、当社の従業員の平均年齢は33・6歳となっており、若い世代も活躍しています。技術力を高め、今後の会社を担う人材に成長してくれることを期待しています。

今後は、プラスチック加工で培ってきた専門技術を更に向上させ、お客様からの要望をタイムリーに応えながら、変化の激しい世の中でもニーズに対応できる企業体で継続的な発展を図り、期待を上回るサービスを提供し続けます。その中で、従業員の豊かさの追求と雇用機会を創出しながら、地域イベントへの支援・参加などを通じて地域の発展にも寄与し、人と社会に奉仕する企業を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

エンジニア兼営業として身に付けた技術と営業力をもとに八代で創業され、プラスチック加工の確かな技術力で事業規模を拡大しながら、半導体事業にも進出。TSMC進出によってますます期待が高まりつつある半導体企業の一大集積地、熊本において、その一翼を担う企業としての活躍が予想されます。

また、社員の男女比率が約6:4と製造業の会社では比較的バランスがよく、ダイバーシティ、スマートファクトリー化の取り組みなど、誰もが働きやすい環境の整備にも注力しておられます。地域活性化の原動力として、さらなる発展を遂げられるのを願っています。





JS 十八親和銀行

事業経験を活かして 持続可能な循環型社会の 構築に挑む。

有限会社 海野清掃産業

代表取締役
海野 泰兵氏

取引店／十八親和銀行 思案橋支店

■会社概要

創業:1977年／設立:1980年／所在地:長崎県長崎市／資本金:300万円／従業員:50名／事業内容:一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業、特別管理産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業、家電リサイクル品の収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業務委託、第一種フロン類充填回収業、土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業／関連会社:有限会社エム・イー・シー

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





事務所前(左から海野社長、山川頭取)

幼い頃から抱いていた 「感謝される仕事」への憧れ

当社の設立は1980年ですが、事業自体は私の両親がその3年前から長崎市で始めたものです。当初は、一般廃棄物の収集運搬を行っており、のちに産業廃棄物の収集運搬や中間処理なども手がけるようになっていきました。

私がまだ3、4歳の時分だったと思います。が、廃棄物のポリ容器を抱えて運ぼうとしている私の写真が残っています。物心がつく前から、親が運転するトラックに乗せられて処分場などへ行き、そこを遊び場に使っていたんです。

ごみ置き場がきれいになると、そのあたりに住んでいる人から「ありがとうね」と感謝の言葉をかけられ、飲み物やお小遣いをもらうこともありました。「みんなが喜んでくれる仕事はかっこいい」という気持ちでどんどんふくらんでいき、子供の頃からこの仕事に憧れるように。さらに、一般的に「ごみ収集車」と呼ばれるパッカー車が会社で使われるようになると、その格好良い見た目も私には魅力的に感じられました。

高校卒業後にすぐにでもこの仕事に就きたかったのですが、親の勧めもあって県外の大学へ進学し、卒業後は環境機器を扱う神奈川県に就職しました。いずれは帰郷して家業を手伝いたいという気持ちはずっとありましたが、生まれ育った土地以外の場所で生活して、社会をそれまでとは違う視点で捉えてみた経験は、今の仕事をする私自身の土台づくりになったと考えています。

ごみを片づける仕事は くらしと社会を守る仕事

私が帰郷したのは2005年で、その頃には、当社は長崎だけでなく佐賀県、福岡市、熊本県の産業廃棄物収集運搬業の許可も取得し、活動の場を拡げつつありました。

当時は従業員が5、6名で、全員が子供の頃から顔を見知った人たちでしたし、ずっと家業を見てきて手伝いもしていたので、すんなりと仕事を覚え、重機運転などに必要な免許もすぐに取りました。好きで始めた仕事ですから、これまで仕事そのものにストレスを感じたことはなく、代表取締役になり実務を離れた今でもそうです。





海野社長

世の中には、目の前に落ちていたゴミを拾おうとしない人がいます。もつといえ、進んで拾おうとしている人はそうそういない。メジャーリーガーの大谷翔平選手が球場のゴミを率先して拾う姿が話題になりましたが、彼自身はそうすることで幸運を拾っていると考えているそうです。

私は、自分の車にはいつもごみ回収用の袋を積んでおり、仕事を離れた時でもごみを見つければその場で拾います。ただし、大谷選手のような理由を意識しているわけではなく、小さい頃から身に染みついているというか、勝手に身体が動いてしまうのです。

また世の中には、自らゴミを拾うのを嫌がるばかりでなく、ゴミを片づける仕事を「汚い」と感じる人がいます。しかし、ゴミを拾えば、

その場がきれいになり、気持ちよく過ごせる。その事実こそ、私たち一人ひとりの生活や社会の継続にとって大事なことであり、当社のような会社が世の中に存在する意味なのではないかと思えます。

組織を強化する方策としてDX推進にいち早く注力

先ほど仕事にストレスはないと言いましたが、だからといってまったく苦勞がないわけはありません。当業界は、朝晩も土日祝日も関係なく働くのが長らく当たり前とされてきました。ごみがない状態を常に保つには、24時間365日の活動を求められるからです。

しかし、どのような職場であっても、時代の移り変わりとともに「働き方改革」の波はやってきます。社員が働きすぎないようにするためには人を増やさねばなりませんし、受注を勝ち取るための他社との価格競争があるなかで、社員の生活を支えるだけの利益を会社として生み出さねばなりません。

そうした状況の打開策のひとつとして、私が実行したのがDX推進です。たとえば、業務管理アプリをインストールしたスマートフォンを



11 9



7



8



- 1.対談風景
- 2.古民家の「梁」を活かした事務所内装
- 3.玄関口のタイル張り企業ロゴマーク
- 4.5.6.当社主力の3tパッカー車
- 7.古民家をリノベーションした本社事務所
- 8.スリランカ出身社員ヨハンさんと談笑
- 9.エコキャップ活動御礼用の自家製キーホルダー
- 10.長崎市内小学校環境学習風景
- 11.企業メッセージ



10



前列左3人目から海野社長、山川頭取、松川支店長(十八親和銀行)

社員全員に貸与して業務の進捗や各自の状況を把握したり、業務車にはドライブレコーダーも装着しました。この取り組みは結果的に、業務の効率化と交通事故軽減を生み、さらにはドライバーのエコドライブ意識や取引先からの信頼度向上にもつなげることができました。10年前に始めた取り組みでしたので、長崎県でもDXという言葉が頻繁に聞かれるようになる前のことです。当業界では、デジタル技術の導入によってビジネスを改善しようとする経営者側の意識がまだまだ不足しているように感じられますが、目先の財務状況にかかわらず対策を迫られる時が早晚やってくるのは間違いないでしょう。

社会の意識変革を目指して 全国規模で2,000社が連携

そして当業界に身を置く以上、全力で取り組んでいかねばならないのが、業界の地位向上です。そのために必要となるのが世の中の意識変革です。しかしながら、これは一社が単独で何とかできるものではなく、それぞれが手を携え、一致団結して目的の実現を目指さねば成し遂げられません。

そうした意味で、私が社業と並行して力を注いでいるのが、公益社団法人全国産業資源循環連合会の青年部活動です。この組織には約2,000社の同業者が所属しており、絶えず連携を図っています。私自身は組織の青年部協議会の会長、および全体組織の理事を務めさせていただいており、その活動のために長崎から全国各地へ飛び回っています。

少し大きな話になりますが、日本経済は大量生産・大量消費、そして大量廃棄が主流である時代が長らく続いてきました。しかし、世界は今まさにSDGsやカーボンニュートラル（脱炭素）が叫ばれる世の中に変貌しています。日本も循環型の社会構造へ転換する取り組みを本気で進めなければならぬタイミングが到来したと思っています。適性廃棄や適性処理の意義を広く浸透させ、循環型経済への転換・構築の一翼となるとともに、業界全体の健全な発展を目指していきたい、そのような熱い思いを持って日々活動にまい進しているところです。

また、全国規模のネットワークと機動力は、災害復旧の役にも立ちます。大きな被害をもたらした熊本地震や西日本豪雨などの際には、被災地から遠く離れた地域からも応援がありました。震災の時には、ごみ焼却炉が使用不能に陥った事態が

ありましたが、当業界のネットワークを駆使して被災地のみなさんに寄り添うことができました。

将来を担う子供たちに 環境保全を考えるきっかけを

排出事業者への働きかけとともに、重要と考えているのが一般生活者への周知活動です。とりわけ、将来の社会を担うことになる子供たちへ向けた環境教育を重視しています。

その一環として、当社では、ペットボトルキャップをワクチンに変えるエコキャップ活動に取り組んでいます。子供たちが集めて、当社に持ち込まれたキャップの売却益の一部を寄付する仕組みで、必要な労力とコストを考えると、この活動自体が当社の事業利益につながることはありません。それでも、子供たちの環境に対する意識を養うきっかけとなります。

また、学童クラブなどへ赴いて環境学習授業を続けておりますが、将来的には見学可能なりサイクル施設の設置を目指しています。

日々のさまざまな活動を通じ、「守ろう限りある資源」を合言葉に、持続可能な循環型社会の構築へ貢献できるよう、いっそう努力してまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

1977年の創業以来、長崎市内において、一般廃棄物収集運搬業を起点として、産業廃棄物の収集運搬業および中間処理業などにも従事され、県外へもその活動の場を拡大しながら社業の発展に努めてこられました。

10年前に、業務の効率化と従業員の働き方改革を目的として、DX化を先駆けて実施されました。近年では、持続可能な社会を実現するためのSDGsに対する取り組みに加え、全国組織の青年部協議会々長として業界全体の地位向上に向けた諸活動にも惜しげもなく身を投じられておられます。社会の将来を見据えた活動に引き続きまい進していただきたいと願っています。



Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

株式会社 ウイルプラスホールディングス
代表取締役社長

成瀬 隆章 氏

Takaki Naruse

取引店／福岡銀行 雑餉隈支店



積極的M&Aによる事業拡大、 店舗のグリーン化、脱炭素化の取り組みで、 「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立に挑む。

世界の自動車メーカー11ブランドの輸入車を、日本国内で販売する正規ディーラー5社の持ち株会社「株式会社ウイルプラスホールディングス」。ブランドナンバーワン、そしてオンリーワンの企業グループを目指し、積極的M&Aを活用した事業を展開されています。

現在はフィアット、アルファロメオ、アバルト、ジープ、BMW、MINI、ボルボ、ポルシェ、ジャガー、ランドローバー、そして中国の電気自動車（EV）メーカー、BYD^{ビワイデー}を取り扱っております。

持続可能な企業としてさらなる発展をしていくために、グループ全体の「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立を目標に掲げ、店舗のグリーン化やGHGの総排出量の削減を実現するための新しい挑戦も始められています。

今回は、福岡生まれで、福岡で起業された、東証上場の株式会社ウイルプラスホールディングスの成瀬隆章社長にお話を伺いました。



日本一の正規ディーラーを目指し、 海外11ブランドの 持ち株会社を設立

私は福岡県北九州市で不動産業と中古車販売業を営む家庭に生まれました。中学生になる時に親元を離れ、福岡市内の中学校に進学し、西南学院高校、そして関東の大学へと進学します。もともと「人が好き」「商売することが好き」という性格もあったのでしたが、車を販売することで買ってくれた方々のライフスタイルが変わり、みんなが笑顔になるのを見てこの業界で生きていこうと思ったのです。2004年輸入車販売で日本一を目指すべく、地元福岡で撤退を検討していた株式会社福岡クライスラーの全株式を自己資金で取得し、独立を果たしました。

2007年には持ち株会社、株式会社ウ
イルプラスホールディングスを設立。翌年の
2008年にチェッカーモーターズ株式会
社（現・ウイルプラスチェッカーモーターズ株式
会社）を子会社化して、フィアット、アルファロ
メオなどの取り扱いを始めます。



ジープ福岡(福岡市博多区)

2009年には、縁あってクライスラー日本
株式会社から日本直営店2店舗を譲り受け、
その後もBMW、MINIを取り扱うウイ
ルプラスモーターズ株式会社、ボルボの帝欧オ
ト株式会社（現・ウイルプラス帝欧オート株
式会社）、ポルシェのウイルプラスアインス株
式会社、ジャガー、ランドローバーのウイルプラ
スエンハンス株式会社を設立するなど、積極的
M&Aを展開してきました。

積極的M&Aで事業再生 気候変動問題解決に向け、 店舗のグリーン化や脱炭素化を加速

私たちの積極的M&Aというのは、ただ既
存の店舗などを買収・譲受するのではなく、雇
用はそのままに事業を再生し、企業価値を高
めていくことを目的としています。

M&Aというと、一方的にこちらのルールを
押し付けるイメージがあるかもしれませんが、
他社から学ぶことも多く、共通のルールをと
もにつくり上げ、売り上げ増につながるよう
ともに歩んでいこうと常々話しています。

輸入車ディーラーといっても、とくに地方の
場合、家族的な小規模経営がほとんどです。
そのような環境下で、世界的に脱炭素社会が
叫ばれるようになって欧米からの輸入車はEV
化が進み、それに合わせて日本国内の店舗設
備も大きく変えていく必要が生じ、家族的な
経営では収益をあげる事が難しくなってい
きます。さらには後継者不在や労働力不足、
店舗のグリーン化の問題なども表面化される
ようになってきました。

そこで私たちは豊富な経験をもとにM&A
を進めていくことで、確実に結果を出し、買収
店舗、事業譲受店舗の事業再生を徹底して
行ってきました。ただし、店舗ごとに配置する
親会社からの派遣スタッフはわずか1、2名で
す。人材の育成、活性化を行いつつながら会社の
体質そのものを改善することで、実際にどの
店舗においても収益性が確実に改善され、従
業員も給与やボーナスがアップするという好
循環が生まれています。

一方で、私たちとしてはM&Aによって新
エリア、新ブランドを獲得するのはもちろん、
EV車普及促進に対応した設備投資を含む



EV充電器は全国35店舗で63台設置し、うち高速充電器も14台設置済み

店舗のグリーン化、CO₂排出量削減、リサイクル促進などの社会課題の解決を推進することができると考えています。

半導体不足などによる市場の停滞

保険や整備などの
ストック型ビジネスで、
着実に売り上げを伸ばす

輸入車の市場は、世界的な半導体不足、コロナ禍の長期化、ウクライナ情勢からくる部品供給不足に伴う納車時期の長期化により新車販売台数が伸び悩み、中古車も流通台数が少ないという厳しい状況にありました。

ようやくそれらが落ち着きを見せ始め、私たちにおいては、新車が売り上げの半分ほどに回復しています。

また、全国の輸入車の国内保有台数は2016年から2022年の7年間の平均成長率が3.46%と確実に伸びていますし、さらにEV化、ICT端末としての機能を有するコネクテッド化で、これからの輸入車整備は正規ディーラーに集約されていくと予想しています。

そのような中で、私たちはお客さまとの信頼関係をさらに強固なものとするために、車両整備や損害保険代理店事業といったストック型ビジネスにも着手してきました。とくに私たち経由での損害保険加入率は非常に高く、コロナ禍で車両販売台数が厳しい中であっても、堅調に収益を伸ばすことができています。保険や整備は、お客さまとのつながりを継続するためにも欠かせないものです。

自動車の性能が高まると同時に、1台の保有年数も長期化しています。事故対応であっても、修理であっても、正規ディーラーだからできる絶対的な安心感のあるサービスを心掛け、

他店との差別化を図っていきたくと思っています。

中国BYDと契約締結 国内EV市場の大きな起爆剤に

長期的に見ると、若い世代の車離れは確実に来ると思っています。今後は、サブスクなど自動車を利用しやすい仕組みも必要になるでしょう。各店舗のグリーン化を進め、お客さまにEV体験、充電体験ができるよう、現在整えているところです。

今年から日本国内での販売がスタートした中国のEVメーカー・BYDは、米国のテスラを抜き、世界EV販売台数トップに躍り出ました。そこで私たちのウイールプラスエンハンス株式会社がBYD Auto Japan株式会社とディーラー契約を結び、福岡市西区のマリノアシティ福岡内に今年7月、国内6店舗目となるショールーム「BYD AUTO 福岡西」がオープンしました。このBYDの普及が、今後の国内のEV市場を大きく変化させるものと期待しています。



BYD AUTO 福岡西(福岡市西区)

輸入車は流行もあり、時期によって人気のブランド車種が変わってきます。11月のブランドを取り扱うことで、それぞれに補い合い、全体として安定した売り上げを積み上げていく

ことができるものと考えています。

景気が悪い時こそが私たちの力の見せどころですが、気候変動問題も「機会」と捉え、私たちはこの問題解決のリーディングカンパニーになるという高い目標を掲げました。

今年3月には福岡銀行から「FFG本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」の融資契約を締結しました。この融資商品は、福岡銀行が独自に策定したサステナブルファイナンスフレームワークを通じて、私たちのありたい姿やゴールを銀行と共有し、将来にわたるサステナビリティ経営実現の後押しをしていただく新しい商品で、私たちが第一号案件となりました。私たちのありたい姿やゴールを目標として掲げましたが、このチャレンジングな目標に対して融資期間、目標の達成率を毎年共有して、目標達成に向けて伴走支援していただけたとのこと、とても心強く思っています。今後もM&Aを通して事業再生に取り組みとともに、店舗のグリーン化やGHG(CO₂などの温室効果ガス)排出量の削減を推進し、持続可能な企業としてさらに成長していきたいと思っています。



FFG本社ビルで対談中の成瀬社長(左)と福岡銀行橋爪常務



FFG本業支援ローンをご利用いただいた証の記念盾を授与される成瀬社長(左)と橋爪常務

株式会社 ウィルプラスホールディングス

- 本社所在地：〒108-0014 東京都港区芝5-13-15 芝三田森ビル8階
- 電話番号：03-5730-0660
- 事業内容：輸入車正規ディーラー
(フィアット、アルファロメオ、アバルト、ジープ、BMW、MINI、
ボルボ、ポルシェ、ジャガー、ランドローバー、BYD)
- グループ会社：ウイルプラスチェッカーモーターズ株式会社
ウイルプラスモーターズ株式会社
ウイルプラス帝欧オート株式会社
ウイルプラスアインズ株式会社
ウイルプラスエンハンス株式会社



FFG公式YouTubeチャンネルでは成瀬社長にSDGsに関する取り組みを中心にお話を伺いました。その様子もぜひご覧ください。



特別編

九州の逸品

KYUSYU NO IPPIN

FILE No.65

九州の「地域ブランド」を
ご紹介致します。

福岡

八女茶発祥600年



八女茶のはじまりから 600年の歴史を迎える

今から約600年前の日本は室町時代の中頃にあたり（応永30年、1423年）、明国（現・中国）で禅の修行を終えた栄林周瑞禅師が、筑後国鹿子尾村（現・八女市黒木町笠原）庄屋・松尾太郎五郎久家に、持ち帰った茶の種子を与え製茶技法とともに一般に伝え広めたことが「八女茶」のはじまりとされています。

毎年、4月の中旬から5月上旬にかけて一番茶が摘採される八女茶は、あまくてコクがあり旨みの強い美味しいお茶という特徴があります。

更に八女茶は、お茶の生産量が全国生産量の3%に満たないにも関わらず、日本茶の最高峰である伝統本玉露の生産量が日本一となっており、高級茶として世界中から高い評価を得ています。

伝統本玉露の生産者と連携しながら、八女茶に付加価値をつけて更なる発展を目指している株式会社 木屋芳友園の木屋 康彦社長にお話しを伺いました。

八女茶発祥600年の
情報はこちら



日本中の茶屋を見て回り 日本茶の奥深さを学ぶ

当社の前身は、祖父・芳友が1930年に中間市で創業した「山城屋茶舗」という茶屋が始まりです。祖父は戦時中に病気を患い、療養のため生まれ育った星野村に疎開したことから、木屋芳友園として八女茶を取り扱うようになりました。

私は、ここ八女で生まれ、幼少時代から当社の後継ぎとして、家業を手伝いながら大学まで進学し、卒業してからは、大阪の麦茶・玄

米茶の素を主に
取り扱う会社に
就職しました。

それから4年間は、日本中のお茶屋さんや営業をしながら業界の様々な商売形態や地域性を見ることで、日本茶への知見を広げる経験をさせていただきました。



木屋芳友園三代目 木屋 康彦 社長



創業の「山城屋茶舗」の金箔木製彫刻看板は店内に展示されている



星水庵のカウンター喫茶にて

日本茶の文化に触れる体験が アイデアに繋がる

大阪で働いていた頃は、とにかく多様な経験をさせていただきました。その中で多くの方に専門的意見をもらい、私自身の考え方や知識を深掘りしてきたことで、一芸秀でた人と話が合うようになり、そこで日本茶に対する考え方が更に深まっていきました。

元々、家業を継ぐ予定だったので4年間このような貴重な経験をさせてもらったのち、帰郷して当社でその経験を活かしながら働きました。帰郷してからは、八女市商工会や八女青年会議所等、地域の活動を通して、多くの人脈と経験を得ることになります。

日本茶鑑定士に認定され 日本茶のあるべき姿を考える

2005年に父・宏ひろし(現・会長)から事業を引き継ぎ、社長に就任しました。それから

も日本茶への理解を深めていき、日本茶鑑定士に認定されました。

この頃、多種多様のペットボトル飲料が発売されるようになり、販売しているお茶は嗜好品としての意味合いが強い立ち位置に移り変わっていました。ライフスタイルの変化から急須で淹れた美味しいお茶を飲む機会が減り、このままでは日本人が積み上げてきた日本茶の文化は衰退の一途を辿るのでは、と私の中で危機感が高まってきました。そこで、八女茶を味わうことで心を満たしながら、購入もできる店舗を作り、若い世代に対し、リーフ茶に興味をもってもらおうと、茶の魅力を伝える八女茶販売店「茶房 星水庵」をオープンさせました。

星水庵は木造平屋の店舗で、美味しいお茶を飲んでもらうカウンター喫茶を設置し、外から店内がよく見えるように設計しています。星野村の環境や立地を生かしながら親しみやすく入りやすい店舗で少しでもお茶に興味を持ってもらえるような工夫を施しています。



5 3



1



6 4



2

1.日本茶鑑定士の認定証/2.里水庵の店内/3.4月に採れた八女茶の一番茶/4.コースではワイングラスでお茶を味わうこともできる/5.木屋芳友園で開発された薫る器「香貴」は中に注がれたお茶の香りを高めてくれる/6.注ぐお湯の温度を職人の感覚で調整しながら淹れられたお茶は旨みが引き立つ

これまでの経験から 日本茶の新しい楽しみ方を提供

当社では、少しでも八女茶の魅力を感じていただくために「八女茶の真髄を愉しむ90分のコース」という予約制のコースを提供しています。

このコースは、八女茶の旨みを最大限に感じていただくために、その年に出来た美味しい茶葉を厳選して仕入れ最高の組み合わせを作り、特別なお茶をお客様に提供しています。生産者ではなく茶師だからこそできるお茶の旨みを最大限に引き出す淹れ方で、器にもこだわり、お茶の香りと味わいを楽しんでいただきます。

器においては高取焼 鬼丸碧山様と共に、形状によりお茶の香り・旨みを引き出す「薫る器 香貴」を開発しました。口当たりにも注目しワイングラスの特徴を取り入れ、香りを最大限に楽しむことができる形状にしており、一つひとつ手作りのため世界に一つしかない器でお茶を楽しんでいただいています。器の形を変えるだけでも、

香りの広がり方や舌への落ち方が変化し、それを応用することで八女茶の様々な味わい方が提供できるのです。

お茶の味わい方で 食の魅力を引き立てる フードペアリング

これまでの経験をもとに八女茶の味わい方の研究を続けたことで、シェフが作る料理に合うお茶を提供するフードペアリングも行うようになりました。料理とお茶を味わいながら説明を聞いてもらう体験を通して食の魅力を引き立て、今までにない経験をさせていただいています。

食べ合わせという観点から、お茶のアドバイザリーによるコンサルティング業務も行っています。

企業様とのコラボでは、キリンビバレッジ株式会社 西日本統括本部長様の生茶のキャンペーンで、お茶と一緒に食べて美味しい各県の特産品を選定しました。

また、福岡・佐賀にお菓子の店舗を展開



ワイングラスにお茶を注ぐ木屋社長

するパティスリーイチリユウ様では、洋菓子の特性と茶葉の味わいが「どう寄り添うことが出来るか」ということを想定し、特別ブレンドした「旨味茶」を使用した旨味茶プレミアムシリーズを限定販売していただいています。

八女茶の魅力を発信し続け ブランド力向上を目指す

玉露で高級というイメージのある八女茶ですが、煎茶でも旨みが強いのが特徴です。普通

にお湯を沸かしてお茶を淹れても美味しい八女茶。その特徴である「旨味」を最大限に活かした味わい方を提供することで、更なるブランド力向上に繋がることを期待したサービスを目指しております。そうすることで、八女茶関係者の想いが込められた全ての八女茶を味わう機会が増えるように、魅力を伝えていきたいと考えています。

私の八女茶に対する付加価値創造が八女茶の未来へのお手伝いとなるように、これからも発信し続けてまいります。

株式会社 木屋芳友園

- 代表取締役社長 木屋 康彦
- 住 所：福岡県八女市星野村4573-4
- 電 話：0120-44-1563
- ホームページ：
<https://www.horyouen.co.jp/>
- 取引銀行：福岡銀行 八女支店



本社外観



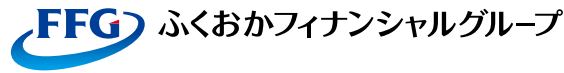
茶房 星水庵外観

八女茶の真髄を愉しむ90分のコース

- 料 金：お一人様 3,300円～
- お時間：約90分
- ご利用可能時間：
13時～16時30分／19時～21時



あなたのいちばんに。



公式 YouTube チャンネル

毎週お金にまつわる豆知識やみなさんのちょっと気になるを解決するための動画を定期的に更新しています。



お金の豆知識



SDGsとESG



デジタル化支援コンサルティング事例

他にも **iDeCo** や **NISA** 情報など役に立つ動画を更新中!

FFG公式チャンネルはこちら



今月のおすすめ動画

「FFG」五島社長 × 「シナモンAI」平野社長 トップ対談



五島社長が考える「FFGが目指すDX」やAIを活用したソリューションをご提供いただいているシナモンAIの情報などデジタル化に向けた対談をご紹介します。



動画はこちら

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、地域人材育成を目的とした探究学習プログラムについてご紹介いたします。



課題探究型フィールドスタディ「マイナビ ツール・ド・九州×locus」開催！

2023年10月6日(金)～9日(月・祝)に福岡県、熊本県、大分県でUCI(国際自転車競技連合)公認の国際サイクルードレース「マイナビ ツール・ド・九州2023(以下、本大会)」が開催されます。

第1回大会となる本大会は、「Make Kyushu Sustainable」九州の持続可能な未来のために「」をコンセプトに、九州におけるスポーツツレガシの継承やサイクルードリズムの推進、自然災害からの復興等、様々な想いを背景に官民一体で行う地域活性化事業です。本大会では、地域貢献、復興、環境、健康、先端技術の実証を行うことを目指しています。

福岡銀行地域共創部は、大会の冠協賛先である株式会社マイナビが企画した特別プログラム「マイナビツール・ド・九州×locus」に協力し、未来を担う子供たちへの教育、地域活動支援への提言、地元企業を知ってもらう機会を提供しました。具体的には、地元の企業を知る機会が少ない高校生に、地元企業と共に地域の活性化策を考えてもらうことにより、郷土への愛着と誇りを醸成する機会の創出や、将来のUターン・地元企業の人材確保につながることを目標に、大会が開催される3県の高校生総勢約600名を対象に課題探究型フィールドスタディを行いました。



小倉城クリテリウム
KOKURA CASTLE CRITERIUM

2023年10月6日(金) 13:30 -
小倉 約45km



福岡
FUKUOKA

2023年10月7日(土) 8:00 -
北九州 - 大牟田 約145km



熊本阿蘇
KUMAMOTO ASO

2023年10月8日(日) 9:00 -
南小国 - 南阿蘇 約106km



大分
OITA

2023年10月9日(月) 11:30 -
日田 - 日田 約135km

マイナビ ツール・ド・九州2023 ステージ紹介



講義の様子



ディスカッションの様子

その中で、地元福岡県立ひびき高等学校の学生と連携し、地域の課題解決に関するワークショップを実施。当日は自分達が住む町の地域活性化について生徒たちが考えた解決策や未来像をプレゼンしてもらい、意見交換を行いました。「サイクルツーリズムを使った海外観光客の誘致」や「地元商店街の活性化」、「地域の交流拠点づくり」等の地域課題について、各テーマを深掘りし、その課題を解決するためにはどうすればよいのかをディスカッションしま

した。未来を担う高校生たちに地域活性化や課題を「自分ごと」として捉えてもらう機会となり、生徒からは「地元を知るよい機会になった」、「銀行で地方創生の取組みを行っていることは知らなかったので参考になった」などの言葉をいただきました。

今後も福岡銀行地域共創部では、地域人材育成の取組み等を通じて、地域への人材還流促進による地方創生の推進や地域経済の発展に貢献してまいります。



locusプログラムの流れ



地域共創部 山下・木山・小山
【お問い合わせ】(092) 723-2254

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】 TEL (092) 723-2254

トップキュウシュウリーグ開幕!

FFG BlueGroupers



FFGグループ内で活躍する
実業団や社会人チーム、
部活動、個人スポーツ活動を
紹介するコーナーです

FFGブルーグループーズ

九州のラグビー界を盛り上げる! 戦う銀行員

ごあいさつ

昭和62年に産声を上げた当チームは、地域の皆さまに愛され、感動を与えられるチームになることを目標に活動しています。9月から始まるリーグ戦では、優勝を目指し最後まで精一杯戦います。皆さまの声援が選手の力になりますので、応援よろしくお願いたします。

はやし ひでゆき
FFGブルーグループーズ部長 林 秀之 (FFGビジネスコンサルティング 代表取締役社長)





応援
よろしく!



FFG
BlueGroupers

ふくおかフィナンシャルグループの公式ラグビー部「FFGブルーグループ」は、1987年に福岡銀行厚生会ラグビー部として創部。発足時は福岡県社会人Dリーグからスタートし、2010年にはトップキユウリーグのAリーグに昇格した。

現在、チームメンバーはふくおかフィナンシャルグループ内の福岡銀行、十八親和銀行の行員がほとんどで、20〜30代の現役選手がプレーするなか、50代の選手も活躍する。

チームの全体練習は水曜と木曜の終業後20時30分からと、土曜の午前中に古賀グラウンドに集まって練習を行う。

毎年9〜11月に開催されるトップキユウリーグ優勝を目指し、日々練習に励んでいる。



写真は芝生を張り替えたばかりのFFG古賀グラウンドにて、「第12回ふくおかフィナンシャルグループ ラグビーフェスタ」(次ページで紹介)終了後のチーム集合写真です。この日はOBも駆け付けてくれました。一仕事終了後の和やかな表情が印象的な一枚です。



2023年7月2日(日)



「第12回ふくおかフィナンシャルグループラグビーフェスタ」を開催しました!

thank you for participating!



参加チーム

福岡県：つくしヤングラグーズ・りんどうヤングラグーズ・中鶴少年ラグビークラブ・筑紫丘ラグビークラブ ジュニアスクール／熊本県：熊本ラグビースクール／長崎県：長崎ラグビースクール



お昼休みにラグビー体験♪

お昼ご飯を食べた子どもたちは、体験ブースでラインアウト(写真上)やスクラムマシン、ゴールキックなどを体験しました。

いこの声が響き渡りました。

も恵まれ、ラグビー教室や交流試合、綱引き、リレーなど、グラウンドに子どもたちの元気いっ

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

さを伝えました。当日は天候にち約200名に、ラグビーの楽し

02 交流試合



01 ラグビー教室



チームの絆



中鶴少年ラグビークラブの皆さん

04 リレー対決



03 綱引き



◀ 綱引き審判員のりんけんさん

参加者の声

FFGブルーグループズのお兄さんたちが優しくて大きくてカッコイイ! ラグビー日本代表になるのが夢です!

こしま そた
小島 蒼太さん(小学4年生)
所属: 中鶴少年ラグビークラブ



お兄ちゃんの影響で今年からラグビーを始めました! 試合でタックルが上手くできて嬉しかったです!

やまくち さな
山口 彩那さん(小学4年生)
所属: つくしヤングラガーズ



ベスト
タックル賞
受賞

トップキウシュウリーグが9月開幕。今シーズンの

意気込みを倉員監督、瀬尾主将、BK廣瀬選手、

FW寺崎選手に語ってもらいました。

まず、FFGブルーグループは、どんなチームですか？

倉員監督 入行1〜3年目の選手が多く、若くて元気のあるチームです。

ご自身のポジションについて教えてください。

廣瀬選手 BKのセンターは、アタックでもディフェンスでも常に前に出て、体を張るポジションです。

寺崎選手 FWのプロップは、スクラムの最前線で戦います。一番地味で一番キツイポジションです(笑)。

寺崎選手は十八親和銀行所属ですね。チームの拠点は福岡県古賀市ですが、練習はどうされているのですか？

寺崎選手 最初は福岡営業部に配属されましたが、今年1月に大村支店に転勤になりました。今は土曜の練習だけ、長崎から福岡に通っています。大変ですが体力がある限り、頑張りたいと思います。

ラグビー部で得たスキルで仕事に活かせることは？

瀬尾主将 グラウンドでは上下の関係を越えて、フラットな関係を築けます。チーム内でネットワークが広がり、仕事の相談もしやすいです。

廣瀬選手 ラグビーは助け合いのスポーツです。仕事でも困っている人がいないか目配りするのが習慣になっています。

今シーズンの抱負をどうぞ。

全員 トップキウシュウリーグ優勝です！

瀬尾主将 コロナ禍を経て、去年3シーズンぶりに試合ができ、ラグビーができる幸せを実感しました。部員が全力で取り組める環境をつくり、みんなを引っ張ってまいります。

では最後に、応援してくださる方にメッセージをお願いします。

倉員監督 試合を観に来て元気になったり、勇気づけられたり、明日の活気に繋がるような試合をしたいです。支えてくださる方に勝利という形で恩返しできたらと思います。

瀬尾主将 泥臭いひたむきなタックルをするチームです。選手を知っている方も普段見れない一面が見れると思います。部員の真っ直ぐなプレーを観に、ぜひ足を運んでください。

ラグビー部の災害ボランティア活動



2023年7月29日(土)、令和5年7月大雨の災害ボランティアにラグビー部から44名(部員家族含む)で参加しました。甚大な被害を受けた久留米市内で一般住居やビニールハウス内の泥出し、清掃、家具の移動、がれきの撤去などを行いました。



FW/プロップ(PR)

Terasaki Daichi

寺崎 大地

十八親和銀行 大村支店所属
1996年6月25日生

主将 FW/ロック(LO)

Seo Yudai

瀬尾 優大

福岡銀行 久留米営業部所属
1994年10月28日生

BK/センター(CTB)

Hirose Yuji

廣瀬 悠二

福岡銀行 比恵支店所属
1999年12月7日生

監督

Kurakazu Mitsuhiko

倉員 光弘

福岡銀行 営業統括部所属
1980年9月5日生



2023年度 トップキュウシュウリーグ スケジュール

※予定は変更・中止になる場合もございます。
 ※11月に順位決定戦がございます。

2023年9月10日(日) VS 日本製鉄八幡
 開催場所: 筑豊緑地球技場(福岡県飯塚市仁保8-25)

2023年9月24日(日) VS ルリー口福岡
 開催場所: FFG古賀グラウンド
 (福岡県古賀市花見東2-24-1)

今後の予定

2023年10月8日(日) VS JR九州サンダース
 開催場所: サニックス玄海グラウンド
 (福岡県宗像市神湊1268-59)
 キックオフ: 15:00

2023年10月15日(日) VS 三菱重工長崎
 開催場所: 博多の森補助球技場
 (福岡市博多区東平尾公園2-1-2)
 キックオフ: 14:00

2023年10月29日(日) VS 安川電機
 開催場所: 北九州市立鞘ヶ谷競技場
 (北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町20-1)
 キックオフ: 14:00

全会場
 入場無料

応援よろしく
 お願いします!



廣瀬俊朗氏

幼少期から始めたラグビーを通じて培われた価値観や、日本代表を含む各世代の主将経験に基づくリーダーシップや組織論を中心に、持続可能な企業スポーツのあり方や企業経営にプラスとなるスポーツの活かし方など、ラグビーワールドカップの振り返りにも触れながら、トップマネジメントの視点でお話しいただきます。

ラグビー日本代表から学ぶ 良いリーダーと 組織

1981年10月生まれ、大阪府吹田市出身。5歳から吹田ラグビースクールでラグビーを始め、大阪府立北野高校、慶應義塾大学、東芝ブレイブルーパスでプレー。東芝ではキャプテンとして日本一を達成した。2007年には日本代表選手に選出され、日本代表として28試合に出場。2012・13の2年間はキャプテンを務めた。現役引退後は、ビジネスブレイクスクール大学大学院にてMBAを取得。ラグビーW杯2019では国歌アンセムを歌い各国の選手とファンをおもてなしする「Scrum Union」や、ドラムマーチやダンスなど、幅広い活動で大会を盛り上げた。同2019年、株式会社HIRAKU設立。現在の活動範囲はラグビーの枠を超え、学生の部活動サポートから大きな組織の企業研修まで、様々な形で経験を活かしたチーム編成作り、リーダーシップのアドバイスやサポートを行うほか、スポーツの普及・教育・健康・地方創生に重点をおいた多岐にわたるプロジェクトにも取り組み、全ての人に開けた学びや挑戦を支援する場作りを目指している。慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科にて履修中。2020年10月より日本テレビ系「news zero」に木曜パートナーとして出演中。
その他肩書 特定非営利活動法人 One Rugby 理事長 一般社団法人スポーツを止めるな共同代表理事 一般社団法人アポロプロジェクト専務理事 特定非営利活動法人 CLOUDY 理事

ご来場者様の中から抽選で直筆サイン入り書籍またはラグビーボールをプレゼント!

2023年
11月29日 水

14:30~16:00 定員**200名**

ザ・リッツ・カールトン福岡
3階ボールルーム
福岡市中央区大名2-6-50 福岡大名ガーデンシティ

対象 FFG経営者クラブ会員様限定 **受講料** 無料
主催 FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、FFGビジネスコンサルティング



1社2名様までの参加申込にてお願いいたします。FFGビジネスコンサルティングのホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申込みください。

お申込み
お問い合わせ先

TEL.092-723-2241
FAX.092-721-9258

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 (担当:岩谷・田中)
受付時間 9:00~17:00 (但し、銀行休業日は除く)



人生100年時代に **若手社員編** 持続可能なキャリアを描こう!

現代は「VUCA」の時代と呼ばれる通り、予想できない事象が次々と起こり、今までの経験や慣習が通用しない状況が続いていきます。そのような時代だからこそ、自身のキャリアを見つめなおし、これから先の自己実現のために、今何をすべきかを前向きに考える好機でもあります。

本セミナーでは、現状を取りまく環境変化を理解し、従来のキャリアの考え方とどのように変わっているのか、また変化の激しい時代の中でどのように自身のキャリアを構築していくかを演習を通して楽しみながら身につけていただきます。

プログラム

1. 「人生100年時代」の背景と変化について
2. ライフシフト概論(人生のタイムスケールを考える)
3. WILL・CAN・MUSTで、自分のキャリアを振り返る
4. 未来地図&スモールステップで、成長していくためのキャリアを描く

開催日時・場所

2023年

11月2日(木)
13:00~17:00

福岡会場 福岡銀行本店4階
セミナールーム
福岡市中央区天神
2-13-1

2023年

11月15日(水)
13:00~17:00

熊本会場 熊本城ホール
熊本県熊本市中央区桜町
3-40

2023年

12月12日(火)
13:00~17:00

長崎会場 ホテルニュー長崎
長崎県長崎市大黒町
14-5

定員 各50名 対象

- ・若手社員
- ・FFG経営者クラブ会員様限定

受講料

無料

主催

FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、FFGビジネスコンサルティング

お申込み人数：全日程を通して1社2名様までの参加申込にてお願いいたします。
FFGビジネスコンサルティングのホームページにアクセスの上、『セミナー・研修会』の「募集中のセミナー」よりお申込みください。

お申込期限：各開催日の5営業日前まで



お申込み
お問い合わせ先

TEL.092-723-2241
FAX.092-721-9258

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 (担当:岩谷・石丸)
受付時間 9:00~17:00 (但し、銀行休業日は除く)



講師プロフィール

シモカドチカ

下門 千華 氏

●キャリア・コンシェルジュ 代表

国内外のエアライン系ホテル、外資系ホテルでフロント・コンシェルジュに従事し、数多くのVIP対応に携わる。外資カスタマーサービススペシャリスト研修で接客・接遇マナー・クレーム対応など習得。

その後、フード業界売上日本No1の企業において、九州・沖縄地区の採用人事責任者として1,000人以上の採用・面接・研修に携わる。また、社内コンプライアンスの推進、評価制度、階層別研修の導入を行い、人事制度の強化及びメンター制度実施により早期離職防止に貢献。女性活躍推進も進め、キャリアアップのための教育体制を強化する。

現在は、これまでの経験を活かし、組織人事コンサルタントとして、中小企業の働きがい向上のための組織づくりと定着支援、顧問人事、高校生から大学生のキャリア支援も活動。ライフシフト・ジャパン株式会社のライフシフト・パートナーでもある。

キャリア・コンシェルジュ
Career Concierge

LIFE SHIFT PARTNER

Topics of the month

「第11期FFG次世代経営塾」を開講

2023年8月1日(火)、福岡銀行本店4階セミナールームにおいて、「第11期FFG次世代経営塾」を開講いたしました。

「FFG次世代経営塾」はFFG3行のお取引先企業の経営者や後継者、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と、経営者同士のネットワーク作りを目的としたビジネススクールです。

2010年に開講した本経営塾は、新型コロナウイルスによる影響で、実に4年ぶりの開催でしたが、定員を超えるお申し込みをいただき受講者数44名にてスタートいたしました。

初回はカーネギー・グローバル・マスター・トレーナーの石原由一朗氏いしはら ゆいちろうにご登壇いただき、「人を動かす経営」というテーマで人間関係を築くポイントやエンゲージメントを高める組織づくりについてお話をいただきました。受講者の方々も真剣な眼差しでディスカッションにご参加され「なんとなく今までやってき

たことが言語化され理解できた」、「非常に良い講義でした。社内の個人面談にて、価値観を知る方法を実践してみたい」など好意的なコメントをいただきました。



グループディスカッションの様子



FFG 山本部長の開講のご挨拶



カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー 石原 由一朗 氏

講義後の懇親会では、講師の石原氏をはじめ、FFG五島社長や銀行本部部长、各取引店長も参加し、業種、県域を越えた交流で親睦を深めていただきました。五島社長からは「世の中の激変や技術革新は今後も続き、そのスピードは更に速まっていく。このような時代に大切なのは、皆様方経営陣が自社のビジネスや社会貢献としっかり向き合っていくことだと身に染みて感じている。ぜひ、この経営塾を、非財務指標を改善しながら財務や収益に結び付けていくことを考える機会にしていきたい」と受講生を労う挨拶がありました。

FFGは今後も「あなたのために、ちばんに。」のスローガンのもと、将来を担う経営者や経営幹部の方々のために有益な情報、サービスの提供に努めてまいります。

次世代経営塾は、若手経営者や後継者、経営幹部の方々を対象に企業経営者に求められる幅広い知識の修得と、ネットワークづくりを狙いとしたビジネススクールです。

開催概要						
日程	2023年 8月1日(火)	2023年 8月24日(木)	2023年 9月14日(木)	2023年 10月5日(木)	2023年 11月7日(火)	2023年 11月28日(火)
テーマ	「人を動かす」 経営	人材 マネジメント	リーダーシップ	コンプライアンス	事業開発	組織マネジメント
講師	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル マスター・トレーナー 石原 由一朗氏	NEC チーフ・ダイバーシティ・ オフィサー 佐藤 千佳氏	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和氏	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 深水 大輔氏	九州大学 経済学研究院 (ビジネススクールQBS) 教授 九州大学ロバート・フアン・ アントレプレナーシップ・ センター(QREC)センター長 高田 仁氏	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・ キャリアコンサルタント 蒲田 善行氏



十八親和銀行 嵩下部長のご挨拶



熊本銀行 若松部長のご挨拶



FFG 五島社長のご挨拶

GOLF TALK

vol.1

小誌で不定期連載している九州ゆかりの若手ゴルファーを応援する企画「GOLF MEGA STAR」で、過去に登場した出利葉太一郎氏、林田直也氏、後藤未有プロ。実はこの3人に共通していることがある。それは、テンフィンガーグリップを提唱する篠塚武久先生に小さな頃から師事しているということだ。将来有望なジュニアやプロゴルファーを多数輩出している篠塚先生は、いったい何者なのか？どんな教え方をしているのか？篠塚先生の一番弟子で国内男子ツアーで活躍する時松プロにも協力いただき、ゴルフトークが実現。全3回シリーズでお届けする。

源蔵君が固定概念を打ち破り、テンフィンガーを世に知らしめた

自然な握り方のテンフィンガー

篠塚先生は「桜美式」テンフィンガーグリップの提唱者として知られていますね。まず一般的なグリップの握り方とテンフィンガーグリップの違いを教えてください。

篠塚 一般的なグリップの握り方は左手の人差し指と右手の小指を絡めて握る「インターロッキンググリップ」と、左手の人差し指の上に右手の小指を乗せる「オーバーラッピンググリップ」です。この二つを私は両手合体型グリップと呼んでいます。私が推奨するのは、左右の指を絡める事なく10本全ての指でグリップを握る左右分担型の「テンフィンガーグリップ」です。考えてもみてください。刀や鋏を握るとき、人間は無意識にテンフィンガーで握っています。つまり、人間が両手で棒状の道具を扱う場合、10本どの指の動きも殺すことなく自然体で握ることができるのがテンフィンガーなのです。そもそも、初めてクラブを握る子どもは、みんなテンフィンガーです。子どもたちは、みんな簡単そうに気持ちよく球を打っています。ところがそこに大人が出てきて「そんな握り方じゃダメだ」「クラブは

コーチ

篠塚武久

篠塚武久(しのづか・たけひさ)1945年5月27日生まれ、78歳。福岡市で「桜美ゴルフハウス」を主宰。福岡大学の大石迪夫教授と共同で作上げた「OSゴルフ理論」で時松隆光プロをはじめとするトッププロゴルファーを多数輩出。自身も日本オープン4回出場など、トップアマとしての実績がある。

「10本で握る テンフィンガースウィング」▶
篠塚武久 著 ゴルフダイジェスト社



桜美
ゴルフハウス

住所: 福岡県那珂川市後野
571(筑紫ヶ丘GC内)
電話: 090-2392-5454



こうして握るものなんだよ」と指導してしま。グリップの握り方は人それぞれ。自然にどう握ってもいいはず。グリップは、球を正確に、まっすぐ、遠くへ飛ばすための、手段にすぎません。

同調圧力に屈せず テンフィンガーを貫く

時松 プロも小さい頃からテンフィンガーグリップでしたか？

時松 5歳の頃に篠塚先生に習いだしからずっとですね。僕のようなテンフィンガーグリップは少数派で、アマ時代から「それじゃダメだ」「変えた方がいいよ」って散々言われてきましたけれど、その度に篠塚先生は僕に「絶対いける!!」と言い続けてこられた。だから僕はそれをずっと信じてやってきました。

篠塚 当時、ほとんどの人がインターロックキンググリップやオーバーラッピンググリップでやっている中、源蔵君(時松プロの本名)が新しい価値観のテンフィンガーグリップを貫くのは大変勇気がいることだったと思います。それでも源蔵君は信念を貫いて、テンフィンガーグリップでプロになった。

今はテンフィンガーを進化させたエイトフィンガーを習得中です!

よくやり遂げたと思います。

**グリップの握り方は
テンからエイトに進化中!**

篠塚 実はここ数年で、テンフィンガーグリップをエイトフィンガーグリップに進化させたんです!

ええっ、エイトフィンガー!? 初耳です! テンフィンガーとはどう違うのでしょうか。

篠塚 8本の指で握るからエイトフィンガーグリップです。左手はテンフィンガー同様に5本の指でグリップします。新しいのは右手(利き手)の握り方。右手の親指と人差し指をグリップから離して握らないことです。8という数字は横になると、無限∞です。その名の通り、このグリップには無限の可能性があります。今、ジュニアの子にも教えていて大会で結果も残せています。近い将来、エイトフィンガーのプロも出てきますよ。

時松 僕も今、先生から教えてもらって進化中です!

時松 プロも習得中とは! 今後が楽しみです。

to be continued

プロゴルファー

時松 隆光

時松隆光(ときまつ・りゅうこう) 1993年9月7日生まれ、30歳。福岡県那珂川市出身。沖学園高等学校卒。身長168cm、75kg。ゴルフを始めた5歳から篠塚武久氏に師事。2012年プロ入り。ツアー通算3勝。本名は源蔵で愛称は「ゲンちゃん」。2020年から2年間、ジャパンゴルフツアーの選手会長を務めた。

Instagram



YouTube



撮影協力

筑紫ヶ丘ゴルフクラブ
住所: 福岡県那珂川市後野571
電話: 092-952-6011



Topics of the month

スタートアップ企業・地域企業成長の 新拠点となる「GROWTH I」で オープニングセレモニーを開催!

2023年8月31日(木)、大名ガーデンシティテラスの2~3階に開設したGROWTH Iでオープニングセレモニーを開催しました。

イベントなどの
情報はホームページを
ご覧ください



「起業の街」福岡市における スタートアップ企業

福岡市は、2012年の「スタートアップ都市ふくおか宣言」を皮切りに「Fukuoka Growth Next(以下、FGN)」の開業など、数多くのスタートアップ支援を行ってきました。

このような取り組みの中、福岡市は開業率で全国1位になるなど、全国でも有数の「起業の街」となりました。

起業の街での FFGの役割とは

こうした福岡市の取り組みを踏まえ、FFGでは「社会的・経済的インパクトを創出するスタートアップの育成・誘致・定着」と「地域企業の成長支援」を目指して「GROWTH I」を立ち上げました。

GROWTH Iという名称には2つの狙いがあり、1つ目がFGNが担う「0→1」(アイデア

創出・事業化)の次のステージを目指した「1→10」(販路開拓・アライアンス・M&A・IPOなど)の支援を行うということ。2つ目が、スタートアップの技術・アイデアを掛け合わせ、地域企業の「0→1」となる新規事業開発や事業変革創出を支援していくことです。

これまでとこれからの FFGの取り組み

FFGでは、これまでスタートアップ企業の支援として、FFGベンチャービジネスパートナーズを中心にスタートアップへのエクイティ投資をはじめとする支援を実施してきました。

今後は、「『地域への貢献』と『FFGの成長』の同時実現」を

長期ビジョンとして、スタートアップ支援を資金支援にとどまらない、FFGの地域ネットワークを活かした支援や独自のソリューションを磨き上げて提供していきます。

また、地域企業の経営には、技術革新への対応、ビジネスの変革、或いはESG/SDGsなど、ビジネスによる社会課題の解決が求められており、こうした課題解決にはスタートアップの技術・ノウハウが大いに役立つと考えられます。



FFG五島社長の挨拶



GROWTH I 関係スタッフの集合写真



テープカットの様子



高島市長の挨拶



商談やカジュアルなイベントでも利用できるサロン(3階)



大規模なイベントが可能なイベントスペース(2階)



西中洲から移転したDIAGONAL RUN FUKUOKA(2階)

す。FFGは、スタートアップと地域企業の間に入るとともに、様々なソリューションを提供して、オールFFGで地域企業の皆様を支援していきます。

GROWTH Iの設備について

当施設は、大名ガーデンシティテラスの2〜3階にあり、2階に

はコワーキングスペース／シェアオフィス「DIAGONAL RUN FUKUOKA」に50〜70人を収容して大規模なイベントも可能な多目的スペース「イベントスペース」、3階にはカジュアルな雰囲気イベントも開催しやすい30〜40人を収容可能な多目的スペース「サロン」があります。

今後は、スタートアップ・地域企業双方の事業成長に寄与する

ための取り組みを施策しており、スタートアップと地域企業の交流会「X-Tech Match up」やスタートアップイベント、専門家による各種経営相談会、ワークショップなどをおこなう予定です。

FFGは、今後もスタートアップ企業と地域企業の挑戦に対し、持てる機能をフルに提供し、企業価値の向上や持続的な地域の成長を目指し続けます。

Topics of the month

台湾での展示会出展支援・ テストマーケティングイベントを実施し、 お客さまの海外販路開拓をサポートしました

福岡銀行は、お客さまの海外販路開拓をご支援するため、全国商工会連合会が実施する「共同・協業販路開拓支援補助金」に申請し、採択を受けました。

その補助金を活用し、お客さまの海外販路開拓につながるイベントを実施しましたのでご紹介いたします。

共同・協業販路開拓支援補助金とは地域金融機関などの地域振興等機関が実施する、中小企業・小規模事業者等への持続的な支援に要する経費の一部を補助するものです。

今回、福岡銀行では同補助金を活用し、台北市（台湾）においてお客さまの販路開拓をご支援する2つのイベントの企画・運営を行いました。

【イベント①】
FOOD TAIPEI
2023への出展支援
（2023年6月14日～17日）

アジア地域における食の展示会としては最大規模となる「FOOD TAIPEI 2023」に福岡銀行が日本九州館ブースを設置し、食品・飲料製造、販売に携わるFFGのお客さま16社にご出展いただきました。

海外の展示会出展が初めてのお客さまに対しては、ブース装飾

検討や出展商品選定など出展に必要なサポートを実施し、展示会本番を迎えました。

「FOOD TAIPEI 2023」は4日間での累計来場者数は延べ46,539人（前年比+18,539人）と多くの来場者で賑わいを見せていましたが、来場した台湾の現地バイヤーの日本食への関心度は非常に高く、本イベントを通してFFGのお客さま1社平均で20件を超える商談が実施されました。



来場者で賑わうブース



出展社商品一覧



試飲・商談の様子

【商談会の概要】

展示会名称	FOOD TAIPEI 2023(台北国際食品見本市)
開催日時	2023年6月14日(水)～17日(土) 10:00～18:00(現地時間) ※最終日は一般個人向けにも開放
会場	台北南港展覽館ホール1・2
来場者	46,539人 (現地バイヤー、飲食店、インフルエンサー、自治体関係者等)
主催	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)

商談の結果、台湾企業との新規取引につながったお客さまもあられ、参加された多くのお客さまからは「販路開拓の可能性を実感できた」等の声が聞かれ、今後の事業拡大につながる実りある展示会となりました。

【イベント②】

商品展示用店舗を活用したテストマーケティング等

(2023年5月1日～6月30日)

台湾にて海外販路開拓に関するコンサルティングサービスを手掛ける魁特東京選物有限公司が運営する店舗「Craft Tokyo」にて、お客さま15社の商品を2か月間展示し、テストマーケティングや商品プロモーションを実施しました。

「Craft Tokyo」は台北市の繁華街である中山エリアに位置し、日本商品のテストマーケティングや商品プロモーションを効果的に実施できる店舗で、台湾に向けて販路開拓を行いたい日

本全国の企業から商材が集まっており、同店舗に商品やチラシを置いたり、試食会を実施したりすることができません。

本イベントにおいては、現地有名YouTuberによる動画配信を活用し集客効果を高めるとともに、同店舗内では来店された台湾の方々に対して試食会や店舗スタッフによる商品説明等を通じて、商材への理解を深めていただきました。こうした取り組みを行いながら、期間中を通じアンケートが実施されましたが、出展されたお客さまからは「現地の人の味覚の嗜好を細かく知ることができ、今後の商品開発の参考になりました」とのお声をいただくなど、有効なテストマーケティングの機会となりました。

さらに、福岡銀行台北駐在員事務所ではネットワーク先の台湾バイヤーを誘致し、出展されているお客さまとオンライン商談につながるサポートを行うことで、

テストマーケティングのみならずお客さまの販路開拓への一歩を踏み出すご支援も行いました。

今回は地域金融機関として補助金を活用したお客さまの海外進出支援の一例をご紹介します。FFGでは海外への販路開拓を検討されているお客さまや、海外への進出を検討されているお客さまに対して、各種サポートを実施しておりますのでお近くの営業店にお気軽にお声かけください。



Craft Tokyoの外観



展示された九州の商品



店舗の中の様子

【Craft Tokyoについて】

会社称号	株式会社Craft Tokyo(日本) 魁特東京選物有限公司(台湾)
店舗住所	台北市大同区赤峰街71巷1號
事業内容	台湾進出支援(台湾消費者リサーチ、台湾国内物流カスタマー・サポート) 台湾店舗事業(商品展示、店頭販売、現地スタッフによる接客) 他



Taiwan Representative Office

台北駐在員報告



台湾における日本産食品の市場について

はじめに

日本政府は「食料・農業・農村基本計画」(令和2年3月閣議決定)の中で、海外への農林水産物・食品の輸出額を2025年に2兆円、2030年には5兆円を達成するという目標を掲げています。政府主導による輸出環境の整備やプロモーション促進に関する取組を行ってきた結果、2022年には10年連続で過去最高額を更新する1・4兆円の輸出額を達成しています。【図1】

台湾における日本産食品のニーズ

2022年の台湾向けの農林水産物・食品の輸出額は、1,489億円と全体の約1割を占めており輸出先としては第3位ですが、第1位の中国の人口が約14億人、第2位の米国の人口が約3億人であるのに対し、台湾の人口は約2,300万人であることを加

味すると台湾における日本産食品のニーズの高さが窺えます。実際、台湾向けの輸出額については、コロナ禍で日本との往来ができなかったことなどを背景に、直近5年で約1・6倍と大きく増加しています。【図2】

台湾は親日として知られており、日本への安心感や信頼度が非常に高いため日本産品は受け入れられやすく他国産の商品と比較して優位性がありますが、一方で台湾には既に数多くの日本産品が流通しており、いかに類似品との差別化を図れるかという点が最も重要になります。商品の特徴、製造方法や価格以外にも、消費者は日本の流行にも敏感であることから、メディアでの掲載や受賞歴の有無、台湾未上陸の商品であるかなどを現地バイヤーは重視する傾向があります。最近では健康志向や環境意識の高まりを背景に、低カロリー、ヘルシー、オーガニック(有機)などの商品が注目されています。また、

図2 日本の農林水産物・食品輸出額推移(国・地域別上位5カ国)

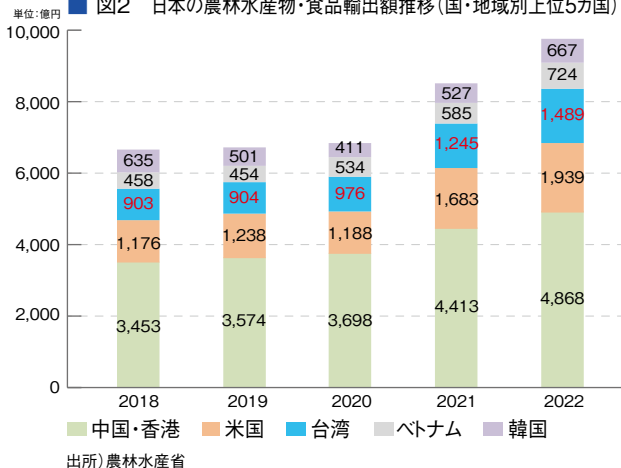


図1 日本の農林水産物・食品輸出額推移

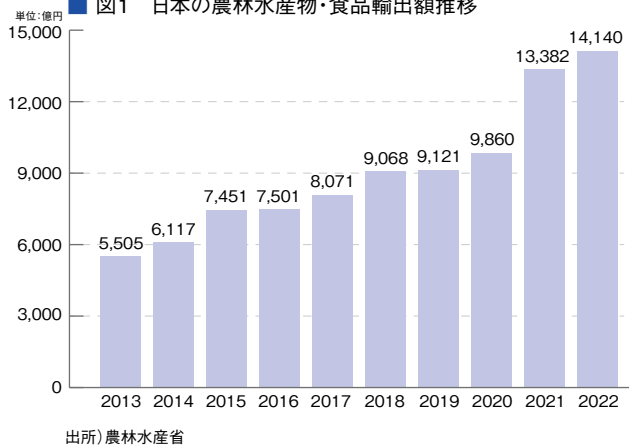




図3 台湾の小売店に陳列されている日本産のリキュール類



図4 日本と台湾の原材料表示の違い

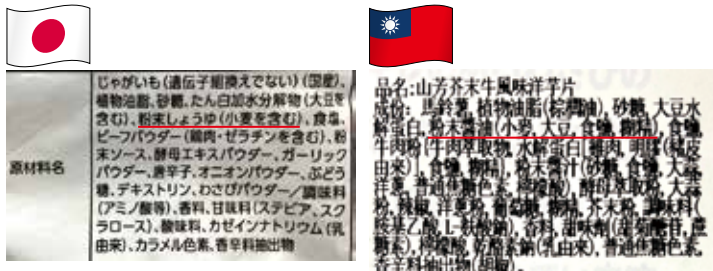


図5 日本と台湾の栄養成分表示の違い

日本		台湾	
栄養成分表示: 1袋(40g)当たり		營養標示 每一份量40公克 本包裝含1份	
① エネルギー	124kcal	① 熱量	124大卡
② たんぱく質	1.6g	② 蛋白質	1.6公克
③ 脂質	0.2g	③ 脂肪	0.2公克
④ 炭水化物	31.2g	④ 飽和脂肪	0公克
⑤ 食塩相当量	0.03g	⑤ 反式脂肪	0公克
		⑥ 碳水化合物	31.2公克
		⑦ 糖	28.4公克
		⑧ 鈉	12毫克

台湾の食品に関する規制

台湾の若者には梅酒や果実酒などのリキュール類のお酒が人気となっているようで、現地小売店では多数の日本産のリキュール商品が陳列されています。【図3】

台湾は食品に関する輸入規制

が厳しいと言われていた。例えば台湾も日本と同じように残留農薬の基準値が設定されていますが、日本以上に輸入検査の基準値が厳しく設定されており、検査で不合格となった商品は全て積み戻しとなるか廃棄となるため、特に青果物などを輸出する場合には注意が必要です。

また、加工品などの包装食品については、中国語ラベルの貼付が必要であり、その中でも「原材料表示」は一次原料と二次原料を共に明記する必要があります。具体的には原材料に粉末醤油が入っている場合は、粉末醤油(小麦、大豆、食塩)など細かく明記する必要があります【図4】、台湾で

【図5】

認められていない原材料が使用されている場合は輸出できません。また、「栄養成分表示」については、日本で義務付けられている項目をさらに細分化されたものを明記する必要があります。

さいごに

台湾は親日で食文化も日本と似ており、九州とは地理的にも近いことから、食品の海外輸出を検討する際の有力な候補の一つであると思います。福岡銀行の海外駐在員事務所では、海外向けの販路開拓や仕入先開拓に関する現地企業とのビジネスマッチング等のご相談を承っておりますので、ご興味がある方は、最寄りの店舗へお気軽にご相談下さい。

2023年7月7日現在
(台北駐在員事務所
所長 大山 一平)

イノベーション共創拠点

ラン

トウキョウ

RUN TOKYO

移転のお知らせ



2023
10/10
Tue
OPEN

ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)は、2017年より展開する全国各地(地域)の人や企業(技術)、アイデア、情報をつなぎ合せて新しい価値を共創するオープンイノベーション拠点「DIAGONAL RUN TOKYO」を移転することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 移転場所

東京都中央区京橋2丁目13-10 京橋MIDビル 4階 ※ 福岡銀行 東京支店と建物が異なります

2. グランドオープン

2023年10月10日(火) ※ 9月29日(金) まで旧施設をご利用いただけます

3. 施設インフォメーション

【概要】 面積：126.93 坪 席数：最大 92席 会議室：2部屋

【フロア構成】 コミュニティスペース：コミュニティを形成するオープンなワーキングスペース
イベントスペース：サッカーのフィールドを模したイベントの場(最大100名)
スモールオフィス：スタートアップの前線拠点(6名部屋、4名部屋、1名部屋)



4. オープニングイベント / プレオープン

2023年10月5日(木) 17:00 より、「DIAGONAL RUN TOKYO」にてオープニングイベントを開催いたします。なお、当日はプレオープンにて、16:00より施設の内覧が可能です。いずれもご予約制となりますので、申込フォームよりご登録をお願いいたします。

ご予約申込 https://questant.jp/q/DiagonalRunTokyo_opening_entry





地域が交差するオーブ

ダイアゴナル

「DIAGONAL」



完成イメージ図

「DIAGONAL RUN」コンセプト

「DIAGONAL RUN」では、様々な要素におけるタテ・ヨコ構造から飛び出し、新しい時代を動かす突破力のあるビジネスアイデアが生まれる「仕組み」と「場」を提供。地域の企業、スタートアップ、デザイナー、エンジニア、専門家など様々なヒト・企業・情報が交わり、共鳴することで、オープンイノベーションによる共創を通じて、ビジネス課題の解決や新たな価値の提供を目指します。



共創パートナー募集中

全国各地（地域）の人や企業（技術）、アイデア、情報をつなぎ合せて新しい価値を共創するオープンイノベーションの場で、ともに汗をかいて走る（RUN）各種パートナーを募集しております。

**OFFICIAL
PARTNERS**

● プラチナ / ゴールド / シルバー パートナー：施設運営全般に関する支援

**SUPPORTING
PARTNERS**

● リージョナルパートナー：各地域との連携やマッチング支援、地域振興

● メディアパートナー：イベント開催や施設利用に関する情報発信

● インベストメントパートナー：入居者への事業化支援、提携支援、投資・融資

● コミュニティパートナー：コミュニティやプログラム連携、サービス・商品等の提供

《 本件に関するお問合せ先 》

ふくおかフィナンシャルグループ DX推進本部

「DIAGONAL RUN TOKYO」内

TEL:03-6262-7515

「DIAGONAL RUN」
最新情報check!



Topics of the month

高校生のための職場体験プログラム 「FFGジョブシャドウ2023」を実施しました!

FFGは、サステナビリティ方針に基づく『生涯学習支援』の一環として、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本とタイアップした高校生向け職場体験プログラム「FFGジョブシャドウ2023」をグループ各社で実施しました。

FFGでは、初等中等教育段階（小・中・高校）における教育支援活動の一環として、できるだけ多くの疑似体験や実地活動などの実践的・体験的な教育活動の場をサポートすることを目的とした、様々な職場体験プログラムを展開しています。

職場体験プログラムの一つである「ジョブシャドウ（※1）」は、新型コロナウイルスの影響により、2021年、22年はオンライン開催となりましたが、今年は4年ぶりのリアル開催となりました。

本プログラムでは、社員1名に対し高校生1名が常時同行（シャドウイング）し、本社・本店ビル内で執務する社員の働く姿を目の当たりにすることで、働くことの意味や将来設計について考える機会を提供しています。

ジョブシャドウ前日には、当日に向け、本プログラムの概要や会社概要の説明、「MESE（会社経

事前学習の内容

- ジョブシャドウの概要説明・・・「働く」とは?
- 会社概要説明・・・銀行・組織体制を知る
- MESE・・・会社経営プログラム体験

ジョブシャドウ当日のスケジュール

09:45	開会式
10:10	ジョブシャドウ (社員1名に高校生1名が常時同行)
12:00	昼食
13:00	ジョブシャドウ
14:40	グループディスカッション (社員1名と高校生4名程度のグループで、社員がファシリテーターとなりディスカッション。「仕事に対する意識」を高める)
15:40	閉会式
15:50	終了



熊本銀行野村頭取の開会式での挨拶の様子



社員の働く姿を見学(写真は十八親和銀行)

	福岡銀行 (15回目の開催)	熊本銀行 (13回目の開催)	十八親和銀行 (合併後 3回目の開催)
参加校	上智福岡高校 城南高校 福岡魁誠高校 福岡女子高校 福岡雙葉高校 福翔高校	九州学院高校 熊本中央高校	佐世保北高校 島原商業高校 長崎女子商業高校
受入人数	51名	26名	28名
開催場所	福岡銀行本部 (FFG本社ビル)	熊本銀行本部 (本店建物)	十八親和銀行本部 (本店建物)
実施日	2023年7月26日(水)	2023年8月2日(水)	2023年7月28日(金)
協 力	公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本		

参加した高校生の感想



ジョブシャドウは、今回実際に体験した人にしかわからない、「働く人たちの雰囲気」「社内の雰囲気」「協力体制」などメモをしようとする手が止まらないほど多くの財産であふれていました。



これからの時代は「会議などで自分の意見や疑問をきちんと伝えることができる人が重宝されること」を学びました。



名刺交換をたくさん社員さんで行い、間違えた時には優しく教えてもらえて、人生で大切な「挨拶」を身に付けることができました。



ミーティングでは、一つの議題に色々な部署が協力して意見を出し、今後の方針を決めていくという現場を見て、自分も将来このようなことをしてみたいと興味が湧きました。



自分の将来について、得意な英語を活かせる職業にしかイメージを持っていなかったのですが、将来は銀行員もいいなと思いました。

※1 ジョブシャドウは公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本の登録商標です。
※2 M E S Eは公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本のプログラムです。

管プログラム※2」等の事前学習を実施しました。
F F Gでは、学生を対象とした職場体験受入れなど、生涯学習支援を行っています。昨年度からはデジタルコンテンツを用いて高校向けに出前授業を行うなど金融経済教育にも注力しています。今後も積極的にキャリア教育や金融教育に努めると共に、持続可能な地域社会の実現に貢献する様々な活動に取り組んでまいります。



グループディスカッションの様子(写真は福岡銀行)

Topics of the month

SDGs私募債の寄付金贈呈式を開催しました

FFGは、SDGsへの取り組みの一環として、グループ3行で募集したSDGs私募債発行による収益金の一部の寄付を行い、贈呈式を開催しました。



右：(社福)福岡県共同募金会 徳永常務理事 / 左：福岡銀行 橋爪常務
※本寄付金は「令和5年7月豪雨災害義援金」として福岡県内の被災された地域の復興へご活用いただく予定です



右：(社福)熊本県共同募金会 江藤副会長 / 左：熊本銀行 山中常務



右：(社福)長崎県共同募金会 木村常務理事 / 左：十八親和銀行 酒井専務

私募債とは、一定の財務水準を満たした企業が、直接金融による資金調達を目的に発行する社債です。その中でもSDGs私募債は、グループ3行で私募債を発行されたお客様からいただく収益の一部をSDGsに資する団体等へ寄付する商品

です。FFGの3行がそれぞれの地域の一員として、地域の抱える課題解決に向けてお取引先とともに取り組むことを目的として、私募債を発行されたお取引先からいただいた収益金の一部をSDGsに資する団体等に寄

付いたしました。今後も、ブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」を実践するとともに、お客様のさまざまなニーズにお応えし、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

熊本銀行が「わくわく油田プロジェクト (以下、油田プロジェクト)」に参画しました!

2023年7月24日、熊本銀行本店で油田プロジェクト参画開始式典が開催され、行内で収集した廃食油を提供しました。

熊本銀行では、地域の持続的な発展に向け、地域が抱える社会問題や環境問題を解決すべく、油田プロジェクトへの参画を開始しました。熊本銀行役員家庭の廃食油を収集、提供する活動を通じて、CO₂削減に貢献し、地域のカーボンニュートラル実現を目指しています。

油田プロジェクトの概要

油田プロジェクトは、熊本いづくに県民発電所株式会社(熊本銀行本店お取引先)、株式会社未来樹(植木支店お取引先)が運営する取組みで、廃食油を回収し、環境負荷の少ない良質な高純度バイオディーゼル燃料(以下、BDF)として生まれ変わらせるプロジェクトです。

BDFは、軽油代替燃料として、一般車両や、工事車両などに利用されています。植物由来の食

用油が原料であることから、燃焼時に排出されるCO₂は植物が成長過程で大気中から吸収したCO₂が排出されるため、CO₂の排出量はゼロとしてカウントできる環境に優しい燃料です。

熊本銀行の取組み

熊本銀行は、油田プロジェクトの、熊本で集めた廃食油を燃料に再生し、さらに再生した燃料を熊本で消費していく、燃料の地産地消と言える取組みに共感したことがきっかけとなり、参画に至りました。

熊本銀行では、行内のSDGs取組みとして、役員家庭の廃食油を収集、提供することにより油田プロジェクトに参画します。

熊本銀行本店ビル、植木支店、武蔵ヶ丘支店、合志支店、菊陽支店、菊南支店に勤務する役員約400名を対象に開始しました。

開始から2ヶ月間に集められた廃食油は57ℓで、これにより削減されたCO₂の相当量は105kg・CO₂となりました。(※)

熊本銀行は今後も取組みを継続し、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

※100kg・CO₂は、ガソリン車で約360km走ったときに排出するCO₂の量に相当。



収集した廃食油(熊本銀行本店ビル)



廃食油の受け渡し(熊本銀行植木支店)



株式会社未来樹が廃食油を回収する様子

Topics of the month

熊本県菊池市と熊本銀行が 包括連携協定を締結しました!

本年7月26日(水)、熊本県菊池市は熊本銀行と包括連携協定を締結しました。

熊本県内では、台湾の半導体受託製造大手TSMCの進出が菊陽町に決定し、以来、新工場の完成に向けて着々と工事が進んでいます。また、半導体製造には多くの関連産業が必要になることから、今後も多数の関連企業の工場進出が予想されます。

菊池市は、熊本県の北東部に位置し、豊かな自然や特色のある歴史などの地域資源を有する「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」です。江頭実市長は3期目の3年目を迎えられ、第3次菊池市総合計画において様々な戦略を打ち出し、「人と自然が調和し、希望と活力に満ちた『癒しの里』きくち」を掲げ、市民と一致団結してまちづくりを進めておられます。また、TSMCの熊本工場に近く、生活しやすい環境であることから、特に住宅の誘致を目的として、今年4月には地域開発推進室を新設されました。

今回の包括連携協定は、菊池市が進める施策に熊本銀行が連携・協力して地域経済の発展に貢献していくことを目指すために締結しました。金融的な機能にとどまらず、FFGが持つあらゆる機能を活用し、菊池市が進めるまちづくりの実現に向けて支援していくとともに、地域に寄り添った取り組みを進めてまいります。



署名した協定書とともに(右から菊池市江頭実市長、野村頭取)



協定書に署名する江頭市長と野村頭取



本件に関するお問い合わせ

熊本銀行
ソリューション営業部
(左から、金森、西田、小野)
電話：096-385-1280

移住者を呼び込む「神の島」大三島 移住者を起点とした、観光・移住需要の創出

おのしま

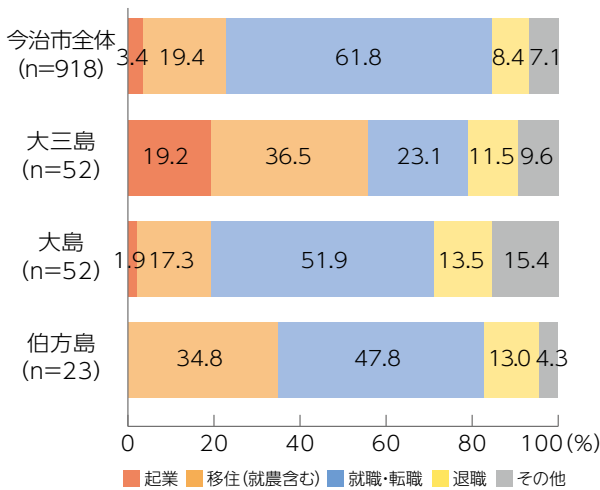
今回は、愛媛県今治市大三島の移住者を起点とした地域おこしをご紹介します。

今治市は、2022年版「住みたい田舎ランキング」※で、全国1位に選ばれた。中でも、移住者を起点とした地域おこしが注目されている大三島にスポットを当て調査した。

※宝島社『田舎暮らしの本』2月号、「2022年住みたい田舎ベストランキング」

大三島(今治市)のデータ	
位置	県内最北端の有人島
面積	64.5km ²
人口	5,102人(2022年1月)
高齢化率	52.8%(2015年10月)
主産業	農業(ミカン栽培)、観光業

図表-1 地域別にみた転入理由の内訳(2020年)



資料:今治市の集計をもとにいよざん地域経済研究センター作成
注:転入手続き時のアンケート調査の回答を集計したもの

1 大三島への移住目的の特徴

大三島への移住目的は、「起業」の割合が高く、市全体や近隣の島と比べて突出している(図表-1)

今治市によると、2021年の大三島への移住者は、前年比1.5倍の約80人となるなど起業・移住したくなる魅力があるようだ。

2 起業・移住したくなる魅力

全国に1万社以上の分社を持つ大山祇神社がある大三島は「神の島」としても知られ、今治の中でも観光客が多い。

23人の移住者に取材したところ、島の魅力は「豊富な観光資源」「豊かな自然と利便性のバランス」「移住者を受け入れる土壌」であることが分かった。



おちのみことおてうえ
▲大山祇神社本殿正面の樹齢約2600年の楠(小千命御手植)

3 人と人のつながりが移住者を呼び込む

大三島への移住者はここ10数年で増えてきた。移住者と受け入れに関わる人たちが紡いだ人と人とのつながりが、さらに多くの移住者を呼び込む流れを生んでいる。

① 地域おこし協力隊の導入・定着

2012年に市に地域おこし協力隊制度が導入された。隊員たちは自ら地域の課題を設定し、3年間の任期中で精力的に地域おこし活動を

行ってきた。彼らの活動で地域が活気づいていくなか、地域住民との関係も深まっていったという。

こうした状況を裏付けるのは、任期終了後の定着率の高さだ。全国は50%程度※だが、大三島(のべ11名)は90%以上だ。行政が隊員に寄り添い、地元住民が温かく受け入れたこともあって、多くの人が地域に自らの居場所や生業をつくり、定住し続けている。

※活動地と同一市町村に定住

② ラントウレーベン大三島でのお試し移住

旧大三島町は2003年、お試し移住施設の「ラントウレーベン大三島」を設立した。

農園つき1DK、2LDKの物件を、農業指導付で年間30〜45万円程度の安価な使用料で利用できる。最大5年間お試し移住ができる。

これまでの利用者82名のうち、約3分の1が大三島に定住している。

③ 相談窓口を担う先輩移住者

先輩移住者の中には、地域への恩返しとして、新たな移住者の相談窓口を担う人もいる。「ゲストハウスオーナーに地元の人をたくさん紹介して



▲ラントウレーベン大三島

もらった」、「居住用物件をいくつも提案してもらった」との声があった。そうした人の温かさに触れて、移住を実行に移す人も少なくないという。大三島では、これらの要因などが重なり合い、多くの移住者を呼び込む流れが生まれている。

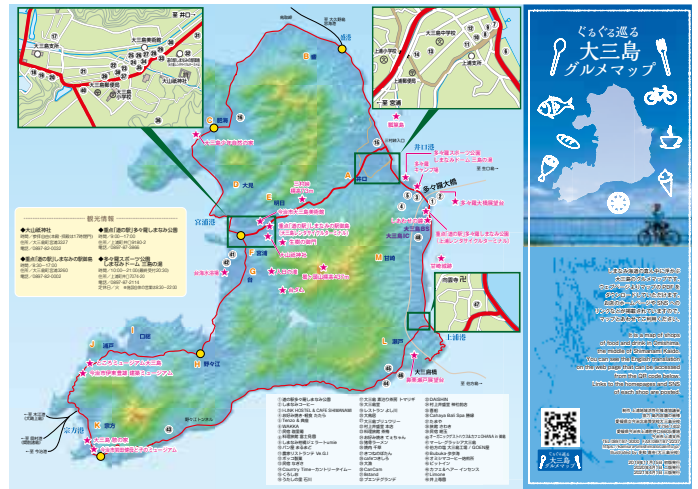
4 移住者を起点とした、観光・移住需要の創出

2021年4月時点で、島にある飲食店のうち約半数は、移住者が経営している店舗である(ぐるぐる巡る大三島グルメマップ調べ)。こうした

観光資源にも恵まれた「神の島」では、移住者を起点とした好循環が生まれ、人口減少などの社

5 まとめ

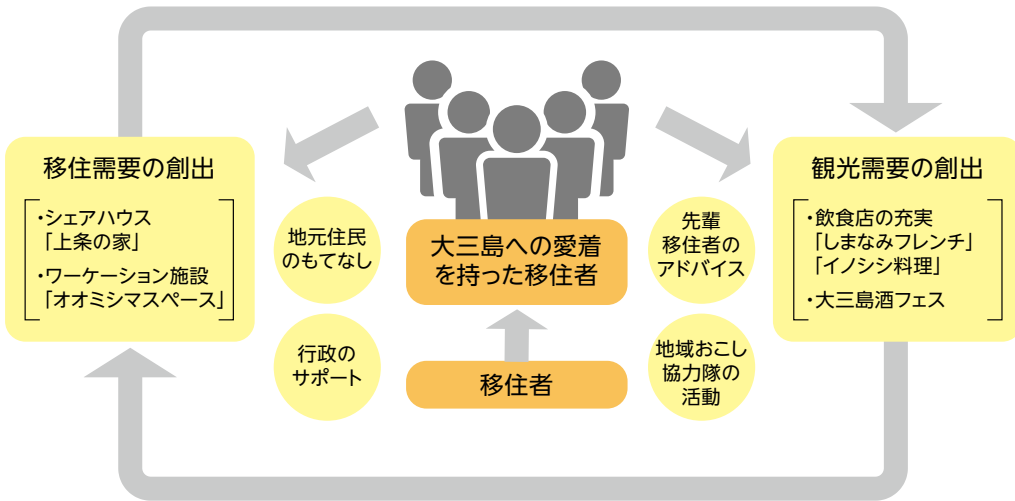
移住者による新規出店が、観光客を呼び込んでいる。また、移住者が運営するシェアハウスやワーケーション施設が新たな移住希望者を呼び込み、若い人材の移住にもつながっている。



▲ぐるぐる巡る大三島グルメマップ

大三島での観光・移住需要の好循環

社会課題の解決に向けて



会課題に立ち向かう下地が整いつつある。これからも新たな着想が次々に生まれる、活力ある地域に発展していくことを願っている。
(文責：株式会社いよぎん地域経済研究センター)

全国の地銀9行連携「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ① 複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ② 他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します

- 【注意事項】**
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)



九州の星
Star of Kyushu

| 84 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

将来はプログラミングが
できる薬剤師になりたいです！

- 2022年度
全国選抜小学生プログラミング大会
準グランプリ
- 2021年度
全国選抜小学生プログラミング大会
ヤフー賞
- Tech Kids Grand Prix
3年連続ファイナリスト
(2020年/2021年/2022年)



大分の小学生プログラマー

中島莉衣奈さんが小学2年生の時、国語教材「スイミー」を題材にしたプログラミングの授業があった。iPadやパソコンに触れたのはその時が初めてだったが、「自分がプログラミングした通りに動くのが楽しい」と夢中になった。

小学3年生からプログラミングのワークショップに参加を始めた。その後、全国大会でも決勝に残る程の実力をつけた。

昨年3月に東京で開催された「2022年度 全国選抜小学生プログラミング大会」では、開発したアプリ「とうけいビュー」が準グランプリに輝いた。統計データをイラストに変換して地図上に表示するアプリで、中島さんは2,200も

のデータをまとめ、イラストも200枚以上自作。数字だけの情報を視覚的にわかりやすく表示できるようにした。大会では作品の発想・技術力はもちろんのこと、動画作成や観衆の前でプレゼンなど表現力も審査対象になる。

小学校では児童会長を務める優等生。今年も、小学校生活最後の年が高の年になるように模索中。

将来の夢は「プログラミングができる薬剤師」。薬局で薬剤師から優しくされたり、薬剤師のお仕事体験が楽しかったからだという。「プログラミングで医薬品分野を発展させたい!」と、プログラミングを通じて未来が広がっている。

中島 莉衣奈

NAKASHIMA RIINA

Age 11
大分市在住
小学6年生



▲「Tech Kids Grand Prix 2020」
小学3年時、初出場の決勝プレゼン



▲出場したプログラミング大会のメダル
やトロフィー

ちよっと釣道

[博多湾、剣の舞 タチウオ編]

Vol.20



① 曙の博多湾はまるでテキーラサンライズ ② 銀ギラに輝くタチウオ ③ ヤバすぎる釣れっぷり!これ毎回(笑) ④ タチウオを狩る輩

「北緯33・6度、東経130・3度」…これが表す座標ってどこかご存じでしょうか。

それは博多湾の中心に浮かび、福岡市民にも親しまれている能古島の北端、「也良岬」沖合の座標。ここは北部九州の観光・貿易上の要衝である博多港へ入港する博多湾内の航路の近くでもあります。その航路の部分こそ水深20〜40mくらいに深く落ち込んでいますが、そこ以外の水深は平均15mの極めて浅い海域です。この也良岬沖も水深7〜15m。砂泥が広がり魚の付き場もなにも無いフラットな海底のこの海域は大変なことになってるんです。

私が幼少の頃、博多湾の百道浜や愛宕浜の水際は、ゴミだらけで砂浜は黒く海水はグレーで海水浴など考えられず釣りもする気になれませんでした。ところが海を渡つた能古島は、全く別の美しい海でした。そして1989年に開催されたアジア太平洋博覧会「福岡'89(愛称よかトピア)。その開発を契機に博多湾は生まれ変わりました。

それは地域的で人為的な開発によるものですが、子どもの頃から見ているとそこに生息する魚種の変化に気が付くようになりまし

た。博多湾で四季で見えていくと、その場所に定着して育っていく魚種としてカレイ、アイナメは多かったですが今はほぼ見られませんか。

そして梅雨頃から回遊してくる初夏の風物詩だった青物系のカンパチやシイラも減ったように感じます。そのかわり…タチウオとサワラ、最大体長1mを超え猛猛な肉食性のこの二種が真冬以外、ほぼ周年博多湾沖では釣れるようになりました。

タチウオ、その名の通り太刀にしが見えない銀ギラのこの魚は、東京湾など水深の深いところで釣るのが国内では一般的です。サワラは鱈と書き、それは主に本州で春に旬を迎えることに由来しますがこれは日本海を群れで南から北上していきます。それが一部博多湾内に大量に居つき、ともすれば大衆魚のアジなどよりも釣れたりします。いつのまにか市民の憩いの場、能古島の水際の浅い海域に大量のタチウオが居着き釣れるようになりました。アルミホイルなみに銀ギラのタチウオが群れる海中の光景…夏の日差しが差し込む海中で、眩しい光を反射させる大量の太刀魚の群れ!それは無数の太刀、剣が舞い踊る様と言っても過言ではなくタ

チウオも魚群探知機には写ります。薄い体側のため、少しでも群れの向きが変わると一瞬で探知機の画面から消失すると言います。

盛期にはそれを狙う遊漁船や漁船がその海域にひしめきます。一人平均10尾釣るとして一体どれくらいのタチウオが一日に釣られるのか。タチウオの盛期は、それでも数が減る気配はありません。こんな状況が実は10年ほど前から続いています。釣り方はメタルジグという疑似餌や、テナヤという特殊な針にキビナゴなどの餌を付け水中に落とすシャクって待つだけ(笑)。そんな手軽で簡単な釣り。海で、そして船での釣りをやってみたいという方には正にうつつのチャレンジ。それが姪浜からわずか10分程度の場所です。そのタチウオ、昔からいたかもわかりませんが、ここ数年から集まりだしたのかもしれない。そこに人は知は及びませんが釣れるのは事実。国内どこを探してもこんなに手軽に釣れるのは能古島沖だけ。大自然の気まぐれで釣れるのは今だけかも。釣りは所詮そんなもんで(笑)。海は変わりゆく。釣りつてそんな瞬間をホントに大切にしたいね。貴方も是非!体感してみては。

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、長崎市遠藤周作文学館様から「遠藤周作生誕100年記念事業」と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



ながさき経済web画面

お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



遠藤周作生誕100年記念事業

長崎市遠藤周作文学館



角力灘に臨む遠藤周作文学館と道の駅「夕陽が丘そとめ」



遠藤周作文学館エントランスホール

長崎市遠藤周作文学館が立地する外海地区は、長崎市の北西に位置し、市内中心部から車で約50分、西彼杵半島南西部の五島列島を望む角力灘に面した丘陵地です。国道202号線を佐世保方面に進んでいくと、山間に赤煉瓦のカトリック黒崎教会があり、そこを過ぎてさらに北西へ坂道をあがると、道の駅「夕陽が丘そとめ」が見え、その小高い丘の下に角力灘を見下ろすようにして、岬の突端に文学館の白い建物が建っています。

1571年に宣教師らがこの地方の布教を始めたこととされ、以降

長崎市遠藤周作文学館

〒851-2327

長崎市東出津町77番地

TEL 0959-37-6011

FAX 0959-25-1443

特設サイト



X(Twitter)



Instagram



公式SNSで情報発信中!

害と弾圧の時代を乗り越えて、キリスト教の歴史と文化が脈々と受け継がれてきた地域です。遠藤周作は小説『沈黙』を書く前に外海に足を運び、地元のかくれキリシタンの帳方の家を訪ねるなどし、小説の構想に繋がる体験をしています。

のちに代表作となる『沈黙』（1966年刊）に禁教期のキリシタンの村として登場するヘトモギ村は遠藤が見た外海などをモデルにして描かれました。

遠藤周作は1923（大正12）年に生まれ、12歳のときにキリスト教の洗礼を受けました。（母親から



遠藤 周作

1923（大正12）年、東京に生まれる。昭和30年、『白い人』により第33回芥川賞を受賞。昭和41年、『沈黙』により第二回谷崎潤一郎賞を受賞。

著書に『海と毒薬』『おバカさん』『死海のほとり』『侍』『深い河』など多数。平成7年、文化勲章受章。1996（平成8）年9月、死去。



遠藤周作生誕100年記念事業ロゴ

遠藤周作

生誕 | 100th

沈黙と好奇心の旅へ

ENDO SHUSAKU
LITERARY MUSEUM

着せられた洋服)のように距離を感じたと言う西洋のキリスト教を日本人の心で実感できるような捉えなおすという課題を背負い、多くの文学作品を世に生みだしました。

当文学館は、2000(平成12)年5月に開館し、遺族のご厚意で寄託された蔵書、直筆原稿、ノート、愛用品などの約三万点の遠藤周作に関する資料を収蔵しています。展示室ではそれらの一部を展

示するとともに、遠藤周作が使用していた机と椅子が置かれ、生前(母の胎内にいるような空間)と称した書齋を再現しています。

そして、令和5年3月27日、遠藤周作が生誕して100年の日を迎えました。

長崎市では、令和4年度から5年度を遠藤周作生誕100年の記念の年とし、この貴重な唯一の機会を活かして遠藤文学の魅力を広ぐ市内外へ伝え、その功績を称えるとともに、それらを次世代につなぐための事業を実施しています。

この生誕100年記念事業の実施にあたっては、「出会う」「堪能する」「次世代へつなぐ」の3つの柱をコンセプトに据え、現在、日本中におられる多くの遠藤周作ファンの皆様に生誕100年を機に長崎を訪れていただくだけでなく、将来の遠藤周作ファンを増やすため、特に、若い世代のファンを増やすことで、遠藤文学の魅力等を次世代へつなぐことに力を入れたものとしています。



ここから、記念事業の内容を紹介いたします。

まず、当文学館において、生誕100年特別企画展「100歳の遠藤周作に出会う」を遠藤周作100歳の誕生日である令和5年3月27日から開催しています。

本展では、遠藤周作の文学と生涯を代表的な純文学作品『沈黙』



遠藤周作文学館で開催している生誕100年特別企画展

『死海のほとり』『侍』『スキャンダル』『深い河』を中心に巡り、現在まで続く遠藤文学の広がりを紹介するほか、ライフワークというべき『劇団樹座』『宇宙棋院』などのユニークな活動も紹介し、遠藤周作の全貌に迫ります。

そして、特別企画展の開幕にあわせ、「遠藤周作のすべて」と題した遠



遠藤周作文学館公式ガイドブック

藤周作文学館公式ガイドブックを刊行しました。これまで当文学館では、企画展などに合わせ、図録などを作成、販売していましたが、全体を網羅した冊子は今回が初めてとなります。

このガイドブックは、遠藤周作の文学と人生を資料写真やグラビア写真で詳しく解説し、書影付きの著書一覧、年譜、寄稿文などを収録した充実の内容となっています。

生誕100年記念事業では、



遠藤周作読書感想文コンクールポスター

遠藤作品に出演されるなど縁が深い著名人を長崎へ招き、作品映像の上映会とトークショーも開催します。

令和5年3月には、ドラマ『夫の宿題』の中で遠藤周作夫人である順子氏を演じられた竹下景子さんを迎え、トークショーとドラマ上映会を開催しました。

令和5年9月には、映画『沈黙・サイレンス』の中で重要人物キチジローを演じた窪塚洋介さんを迎



生誕100年記念事業公式Instagram



遠藤周作生誕100年記念文集「遠藤周作とのめぐりあい」

え、トークショーと映画上映会を開催しました。

また、遠藤周作の魅力や生誕100年記念事業の取組みを一人でも多くの方に届けるため、X(ツイッター)・インスタグラムといった公式SNSや特設サイトを開設し、全国に向けて効果的に情報発信を行っています。

さらに、遠藤周作に思い入れのある文化人、アーティストなどの寄稿をまとめた「遠藤周作生誕100年記念文集」を発刊しました。そして、若い世代が遠藤文学へ触

れる機会を創出するとともに、遠藤文学や当文学館の周知を図るため、

今年は生誕100年記念「遠藤周作読書感想文コンクール」を実施し、これまで遠藤文学を知ることがなかった方にも、このコンクールが遠藤文学の魅力に触れる新たな入口になればと考えています。

また、遠藤周作と交流のあった方など縁のある人たちが語るエピソードや、遠藤周作及び当文学館について理解を深めるための映像等を収録したアーカイブ映像の制作を現在進めています。完成した映像は当

文学館で公開するほか、修学旅行で来館してもらう学生の皆さんも事前学習にも活用していただくことも予定しています。

このような取組みからも多くの方に遠藤周作に出会ってもらい、遠藤周作及び遠藤文学の魅力を次世代に継承していく仕組みを作っていきたいと考えています。

さらに当文学館では、来館して遠藤周作を堪能した思い出を持ち帰り、いつでも思いを馳せることができるよう、公式ガイドブックをはじめ、トートバッグや記念切手、遠藤周作



生誕100年記念オリジナルグッズ

の名言を記した日めくり万年カレンダーなど、生誕100年記念のオリジナルグッズを販売しています。

最後に、長崎市遠藤周作文学館には、遠藤家ご遺族のご厚意から多くの資料を寄託していただいております。当文学館に來ないと見ることができない貴重な資料を展示しています。遠藤周作ファンの方はもちろん、遠藤周作に初めて接する方もぜひ当文学館にお越しいただき、100歳の遠藤周作との出会いを堪能されることをスタッフ一同、心よりお待ちしております。

秋季
企画展

静物画展Ⅱ

色と形のあわい

2023年9月8日(金)～10月28日(土)

現在、十八親和アートギャラリーでは、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて秋季企画展「静物画展Ⅱ」色と形のあわい」を開催しております。

絵画の主題として根強い人気のある静物画は、画家によって選定された花や日用品の品などの組み合わせや、巧みな画面構成が魅力のひとつです。また作品に描かれる情景は、モチーフの他にも描画材や技法によって様々な表情をみせ、物とそれを形作る色彩表現の奥深さに気づかせてくれます。本展では、国際的に活躍した岡田謙三とマナブ間部の油彩画に加え、郷土ゆかりの北村綱義のパステル画、島内きみの油彩画など9名の画家による10点をご紹介します。この内、5点が初公開となります。

島内きみ(しまうちきみ)・・・1916～2012。佐賀県生まれ。長崎県女子師範学校卒業。小佐世保小学校教諭時の1938年に第2回新文展で初出品入選。53年フランス留学。58年東京へ転居、晩年は横浜に移る。国画会を中心に活躍したほか、郷土における後進の育成にも尽力した。85年長崎県立美術館にて回顧展開催。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料



【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

島内きみ「まほろばを偲う」1971年制作 油彩画 P100号